



インタラクティブフラット パネル

ユーザーマニュアル

法的情報

この文書について

- 本ドキュメントには、製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に掲載されている写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアの更新その他の理由により、予告なく変更される場合があります。最新バージョンのドキュメントは、Hikvision ウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別段の合意がない限り、杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社またはその関連会社（以下「Hikvision」）は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。
- 本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導と支援のもとで、この文書をご利用ください。

本製品について

- 本製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。
- お選びいただいた製品が映像製品の場合は、以下のQRコードをスキャンして「映像製品の使用に関する取り組み」を入手し、よくお読みください。



知的財産権に関する承諾

- 本ドキュメントに記載された製品に具現化された技術に関連する著作権および/または特許はHikvisionが所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書のテキスト、画像、グラフィック等を含むいかなる部分もHikvisionに帰属します。書面による許可なく、本文書の全部または一部をいかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、各管轄区域において Hikvision の財産です。
- 記載されているその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者の財産です。

- **HDMI™** HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface,
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMIトレードドレスおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

法的免責事項

- 適用される法律で認められる最大限の範囲において、本書および記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿のまま」かつ「すべての欠陥およびエラーを含むまま」提供されます。HIKVISIONは、商品性、満足度のいく品質、特定目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証を行いません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISIONは、事業利益の損失、事業中断、データの損失、システムの破損、文書の損失など、特別、結果的、付随的、または間接的な損害について、お客様に対して一切の責任を負いません。システムの破損、または文書の損失を含むがこれらに限定されない損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、その他いかなる法的根拠に基づくものであっても、本製品の使用に関連して、HIKVISIONがそのような損害の可能性について通知されていた場合であっても、一切の責任を負いません。

または損失について、一切の責任を負いません。

- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシー漏洩、その他の損害について一切の責任を負わないことを認めるものとします。ただし、必要に応じてHIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。
- お客様は、本製品を適用されるすべての法令に準拠して使用することに同意し、お客様の使用が適用される法令に準拠していることを確認する責任はお客様にあります。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用することについて責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連する文脈における活動、または人権侵害を支援する活動を含むがこれらに限定されない。
- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合は、後者が優先する。

© 杭州海康威視数字技術有限公司。無断複写 転載を禁じます。




はじめに

適用モデル

本マニュアルは、インタラクティブフラットパネルに適用されます。

記号の定義

この文書で使用される記号は以下のように定義されます。

記号	説明
 Note	本文の重要な点を強調または補足する追加情報を提供します。
 Caution	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、性能の低下、または予期せぬ結果をもたらす可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。
 Danger	回避しなければ死亡または重傷につながる高いリスクの危険を示します。

本マニュアルで取り扱うすべての製品は、製品セキュリティレッドライン V4 に基づいて開発されています。

目次

第1章 はじめに	1
第2章 操作および保守上の注意事項	2
2.1 電源ケーブルの使用	2
2.2 清掃およびメンテナンス	3
第3章 接続と設置	4
3.1 設置上の注意	4
3.2 外観とインターフェース	4
3.2.1 フロントパネルとインターフェース	4
3.2.2 パーソナルコンピュータ（PC）への接続	7
3.3 内部コンピュータの設置	8
3.4 取り付け	9
第4章 起動とシャットダウン	12
4.1 デバイスの起動	12
4.1.1 コンピューターボックスなしでインストール	12
4.1.2 コンピューターボックス付きでインストール	12
4.2 エコモード	12
4.3 シャットダウン	12
第5章 メニュー操作	14
5.1 基本操作	14
5.2 システムバー	15
5.3 入力ソース	16
5.4 ネットワーク	16
5.5 コントロールメニュー	16
5.5.1 注記	17
5.5.2 スクリーンショット	19
5.5.3 投票機	19
5.5.4 ランダム選択	21
5.6 カメラ機能	23
5.6.1 カメラ	23
5.6.2 ビデオ	23
5.6.3 設定	24
第6章 システム設定	25
6.1 ネットワーク設定	25
6.1.1 有線ネットワーク設定	25
6.1.2 ワイヤレスネットワーク設定	26
6.1.3 WLAN ホットスポット設定	27
6.2 ディスプレイ設定	28
6.3 オーディオ設定	30
6.4 言語と入力設定	30
6.5 日付と時刻の設定	30
6.6 アプリケーション管理	31
6.7 Bluetooth	32
6.8 補助機能	32
6.8.1 温度調節	32
6.8.2 物理ボタン設定	33
6.9 詳細設定	33

6.10	ユーザー設定	36
6.11	デバイス情報	38
6.12	ネガティブスクリーン	38
第7章	インテリジェントアプリケーション	39
7.1	ファイルブラウザ	39
7.2	Browser	40
7.3	ホワイトボード	40
7.3.1	ツールバーの基本操作	41
7.3.2	その他のツール	42
7.3.3	ホワイトボードを管理する	48
7.3.4	ホワイトボードを保存	48
7.3.5	ホワイトボードを共有	49
7.3.6	その他の機能	50
7.4	WonderCastServer	52
7.5	システムブライントールアプリケーション	52
第8章	付録A よくある質問	53

第1章 はじめに

インタラクティブフラットパネル（以下「本装置」）は、コンピューター、プロジェクター、インタラクティブホワイトボード、スピーカー、広告機などの機能を統合しています。本装置は、4Kディスプレイ、赤外線タッチ、人間と機械の相互作用、マルチメディア情報処理、ネットワーク伝送などの複数の技術によって強化されており、書き込み、注釈、マルチスクリーン共有、リモートビデオ通話（オプション）などの様々な機能を提供します。

本装置は主に、オフィス、会議室、マルチメディア教室、展示ホールなどの場所において、遠隔ビデオインタラクティブ、研修・指導、医療相談などのイベントに使用されます。

主な機能

- 入力信号の解像度が最大3840×2160のUltra HDディスプレイに対応。
- 20pxの極細描画、2mm径の認識が可能で、1mmの精度を実現。
- USB 3.0に対応。
- 内蔵Wi-Fiにより、ケーブル接続なしで画面ミラーリングを実現。
- 内蔵インタラクティブホワイトボードシステムにより、QRコードによる注釈や共有が可能。
- ループアウト表示が可能。
- 各種オーディオ・ビデオインターフェースによるデバイス接続に対応。
- 内蔵ネットワークスイッチモジュールにより、ネットワークスイッチが不要。
- 内蔵のAndroidシステムが各種アプリケーションを提供します。
- OPS/OPS-Cデバイスに対応し、内蔵システム間のスムーズな切り替えを実現。
- アルミニウムプロファイルフレームによる超薄型設計。

第2章 操作とメンテナンス

注意事項

本装置の液晶パネルは、高精度技術によって製造されています。ただし、画面上に常に点灯している、あるいは全く点灯していない微小なスポットが見られる場合や、横から見たときに色や明るさにムラが生じることがあります。しかし、これらの現象は液晶ディスプレイに共通するもので、故障ではなく、本装置の性能に影響を与えることはありません。

- 当社は、本装置の操作中に第三者の原因による不具合、その他の故障や損傷が生じた場合、一切の責任を負いません。
- 火災や損傷の危険を避けるため、ほこり、高湿度、油や蒸気が接触する環境での使用は避けてください。
- 直射日光下や強い光源の近くには設置しないでください。
- 強い放射線を発生する他の機器の近くに本装置を置かないでください。
- 雨や湿気の多い環境に装置をさらさないでください。
- 本機を不安定または安全でない場所に置かないでください。強い衝撃、振動、揺れを避けてください。
- 火災の危険を避けるため、暖房器具の近くや高温の場所での使用は避けてください。
- 低温環境から高温環境へ移動した後は、環境から移動させた後、すぐに電源を入れないでください。結露が蒸発するまでお待ちください。
- 本機内部に異物を挿入しないでください。
- 本機の上に重い物を載せないでください。
- 本製品および付属品は予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイの脆弱な素材は落下や衝撃に弱いため、取り扱いには十分ご注意ください。
- デバッグおよび操作中の不適切な操作は、本機の損傷の原因となる場合があります。
- 硬い物体で本機を引っ掻いたり叩いたりすることは厳禁です。動作中の頻繁な電源のオン/オフは、損傷や故障のリスクを避けるため避けてください。
- 煙、異臭、または騒音が機器から発生した場合は、直ちに電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。その後、サービスセンターまでご連絡ください。

2.1 電源コードの使用について

- 電源ケーブルが損傷または故障している場合は、サービスセンターにご連絡ください。電源が適切に接地され、筐体の銘板に記載された要件に適合していることを確認してください。
- 本機を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。雷雨の際は電源プラグとアンテナを外してください。

- 長期間使用しない場合、本機の電源を切り、電源を遮断してください。
- 電源を切った後、放電が短時間続く場合があります。電源を切ってから2分間待ってから操作してください。
- 本製品に付属の純正電源ケーブルのみをご使用ください。同仕様の電源ケーブルをご購入の際は、正規販売店にお問い合わせください。
- 電源が確実に接地されていることを確認してください。
- 電源プラグとコンセントにはほこりや金属片が付着しないようにしてください。
- ケーブルをいかなる形でも改造しないでください。
- ケーブルの上に重い物を置かないでください。
- ケーブルを熱源から遠ざけてください。
- 電源プラグをケーブルを引っ張って抜かないでください。
- 電源ケーブルを物理的または機械的な損傷から遠ざけてください。
- 本ケーブルはインタラクティブディスプレイ専用です。他の機器には使用しないでください。

2.2 清掃とメンテナンス

- 背面カバーの穴は放熱用です。背面カバーに液体を注いだり噴射したり、濡れた布で清掃しないでください。
- 清掃前に電源プラグを抜いてください。
- 画面に高輝度の画像を長時間表示しないでください。
- 乾いた柔らかいほこりのない布で本機を拭いてください。
- 内部清掃についてはサービスセンターにお問い合わせください。
- 適切なメンテナンスにより、初期段階の故障を回避できます。
- 定期的にデバイスを清掃し、新品同様の状態を保ってください。
- 水、スプレー式クリーナー、工業用化学薬品で本機を清掃しないでください。異物が本機内部に入らないようにしてください。
- 装置のメンテナンスは、資格を持つサービス担当者にご依頼ください。装置が損傷した場合は、当社までご連絡ください。無許可での修理は行わないでください。

第3章 接続と設置

3.1 設置上の注意事項

- 最適な性能を発揮させるため、設置前に装置の画面と背面を清掃してください。
- 安全のため、メーカー提供の壁掛け金具または台座のみをご使用ください。
- 壁掛け設置は専門スタッフにご依頼ください。
- 設置前に付属品を確認してください。不足品がある場合は販売店に連絡してください。
- デバイスを過度に締め付けしないでください。そうしないと画面が歪む可能性があります。
- 装置は耐荷重壁に取り付けてください。
- 安定した場所に設置するか、壁にしっかりと固定してください。
- 電源接続を容易にするため、利用可能なAC電源コンセントの近くに設置してください。信号干渉を防ぐため、他の機器と同一の接地ケーブルを使用してください。
- 機械的振動源の近くに設置しないでください。
- 虫が容易に侵入できる環境に設置しないでください。
- 結露を防ぐため、本機をエアコンに直接向けしないでください。
- 電波干渉を避けるため、強い電磁界の中に装置を置かないでください。

3.2 外観とインターフェース

3.2.1 Front Panel and Interfaces

インタラクティブフラットパネルのインターフェースは以下の通りです。



- インターフェースは、デバイスによって異なります。
- 以下の説明は、画面を正面から見た方向からのものです。



Figure 3-1 前面パネルとインターフェース

Table 3-1 パネルの説明

No.	説明	No.	説明
1 (左から 左から 右へ)	HDMI入力インターフェース 多機能USBインターフェース 多機能USBインターフェース 多機能USBインターフェースType-Cイ ンターフェース 光センサー リモコンユニット	2	NFC 操作は、 6.10 ユーザー設定
3 (左か ら 右 へ)	電源キー 音量- 音量+ Androidホストメニュー戻る コントロールメニュー 物理ボタン (デフォルトではPCに切り替わ ります。カスタム操作については 6.8.2 物理ボ タン設定 を参照してください)	4	電源スイッチ
5	電源 AC 100 ~ 240 V	6	多機能USBインターフェース
7	Android USB インターフェース	8	HDMI 1入力インターフェース
9	LAN 1 インターフェース	10	LAN 2 インターフェース
11	周辺機器タッチインターフェース	12	シリアルポートインターフェース
13	オーディオ入力インターフェース	14	オーディオ出力インターフェース

3.2.2 Connection to Personal Computer (PC)

PCと本装置の接続は下記の通りです。



設置または分解の前に、必ず本装置の電源を切ってください。

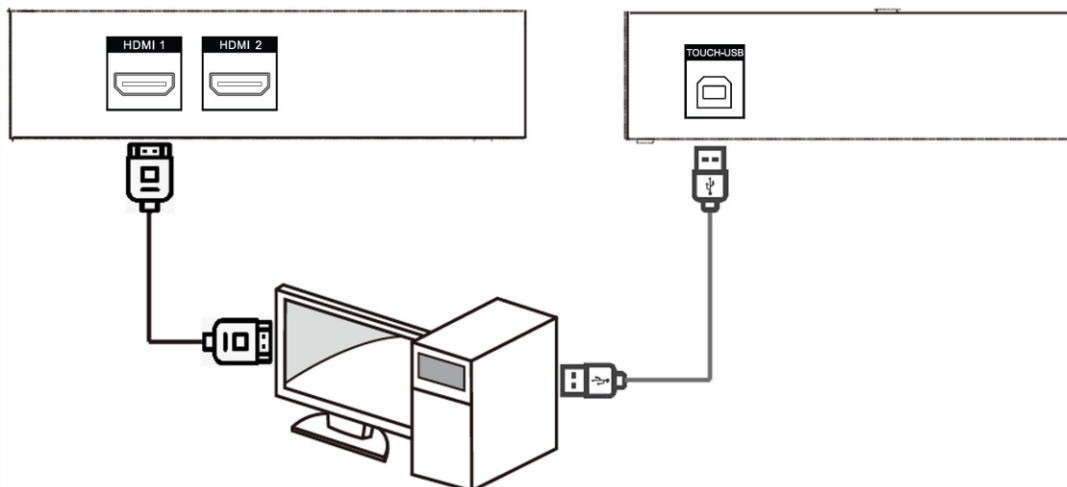


Figure 3-2 PCへの接続

Note

- タッチUSBインターフェースは、ユーザーがデバイス上で外部PCをタッチ操作する必要がある場合にのみ必要です。
- HDMI信号の高品質伝送のため、10メートル未満の高品質信号ケーブルを使用してください。
- USBケーブルは製品に含まれていません。Type-AコネクタからType-BコネクタへのUSBケーブルをご購入ください。

3.3 内部コンピュータ設置

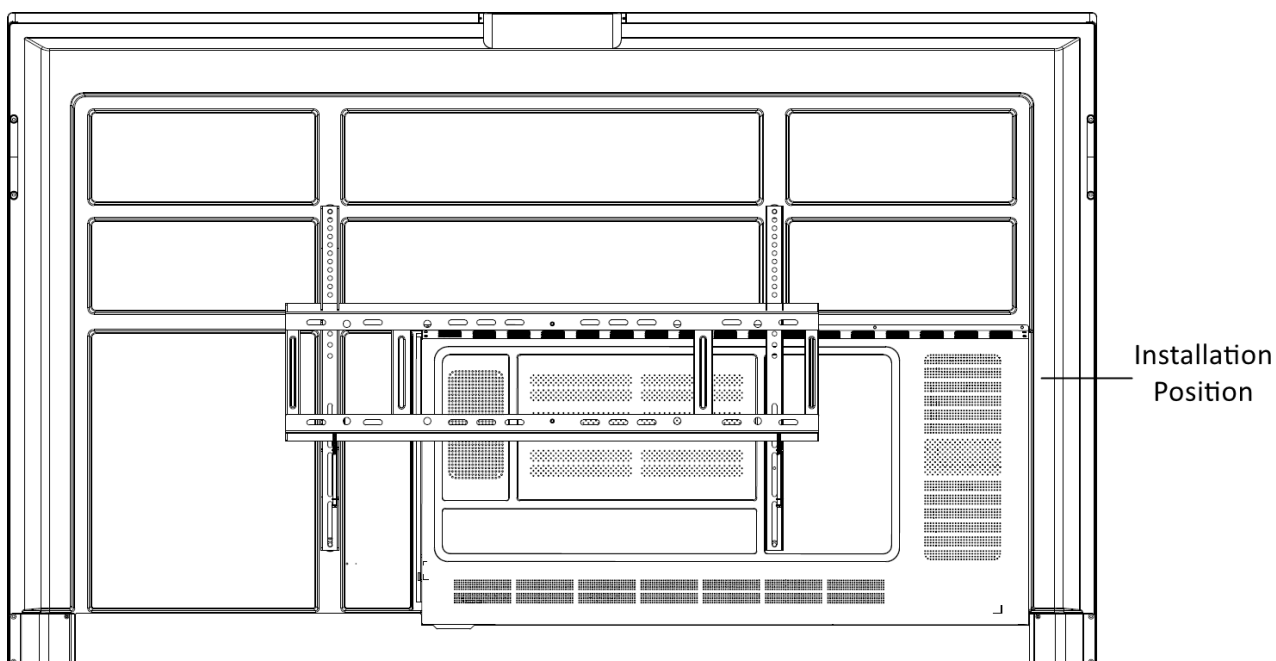


Figure 3-3 内部コンピュータ設置

コンピューターボックスは、デバイスの側面スロットに取り付けます。ボックスを取り付ける際は、上の図のように、その通気孔が背面パネルと同じ方向を向いていることを確認してください。ネジを締めてボックスを所定の位置に固定します。

Danger

- コンピューターはオプションの付属品です。
- デバイスの損傷を防ぐため、コンピューターボックスの取り外しは、必ずデバイスの電源を切った後に行ってください。

3.4 取り付け

本装置は、下図のように壁掛けマウントまたは可動マウントで設置できます。

Note

壁取り付け用とモバイル取り付け用の付属品は異なります。混同しないでください。

壁取り付け

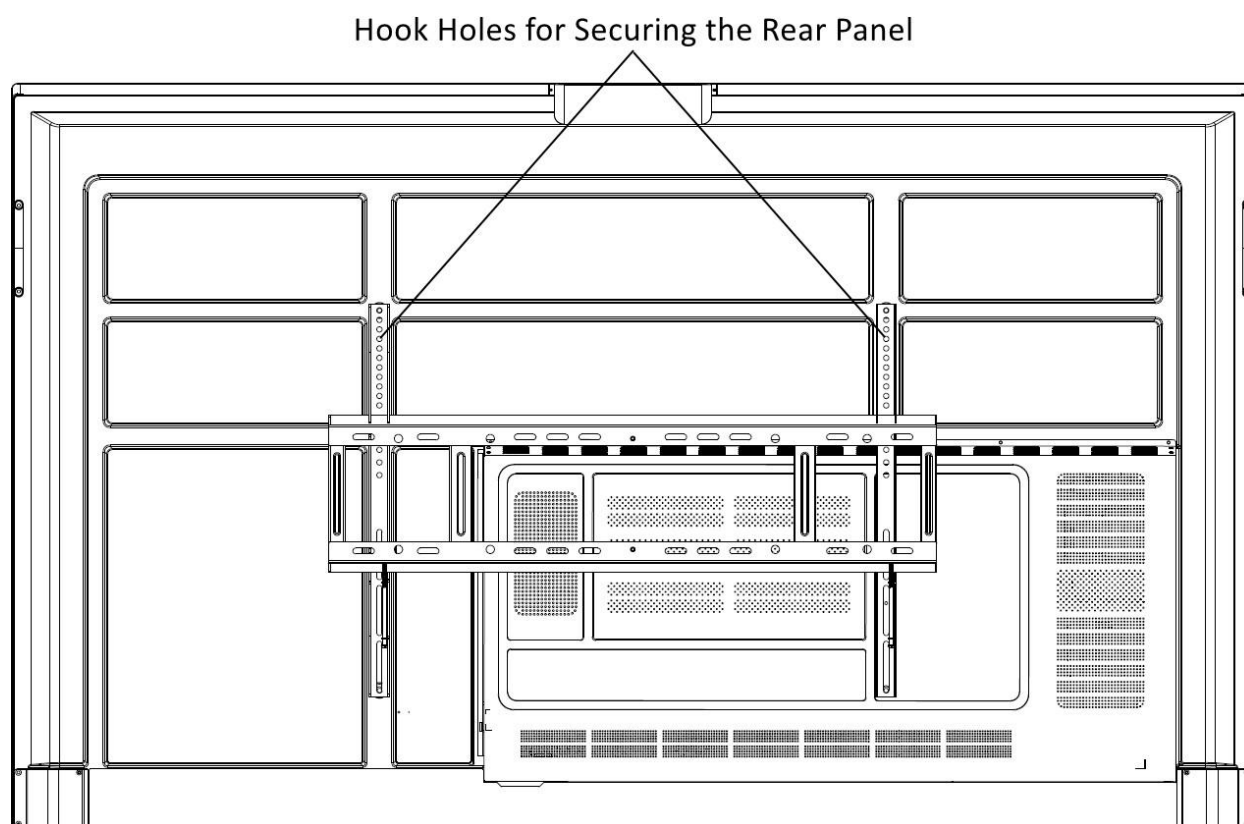


Figure 3-4 壁掛け設置 背面図

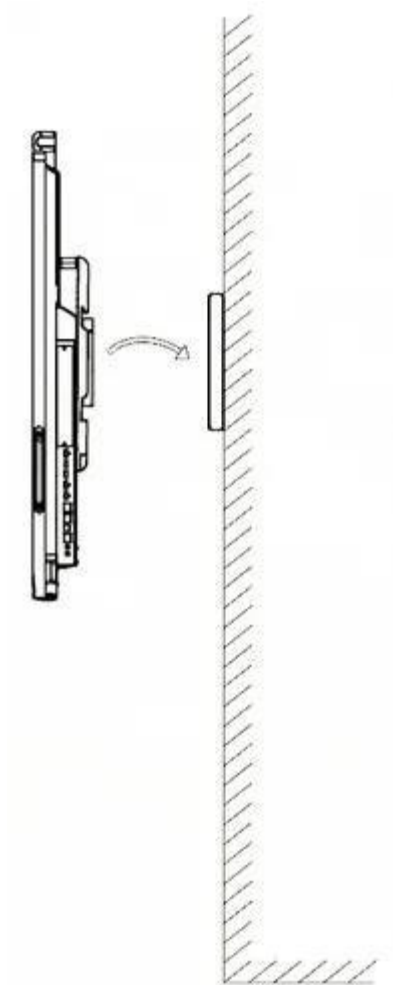


Figure 3-5 壁掛け側面図

 **Note**

壁掛けは水平方向に可動します。メンテナンスのため、各側面には6cm以上（片側のみの場合は12cm以上）、上下には5mm以上のスペースを確保してください。

可動式取り付け

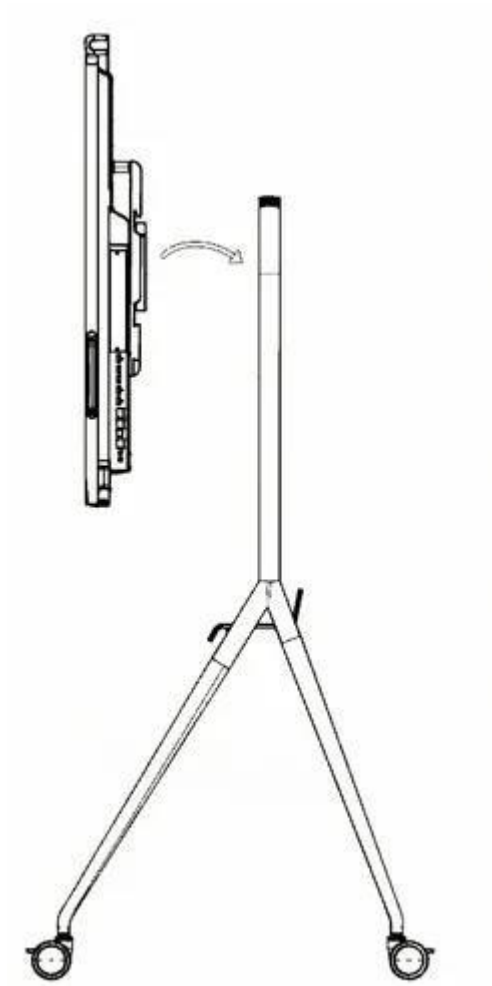


Figure 3-6 可動式取り付け

第4章 起動とシャットダウン

4.1 デバイスの起動

4.1.1 Installed Without a Computer Box

手順

Step 1 デバイスを電源に接続します。

Step 2 電源スイッチをオンにすると、前面パネルの電源インジケータが赤色に点灯します。

Step 3 フロントパネルの電源ボタンを押すと装置が起動し、インジケータが青色に変わります。

4.1.2 Installed with a Computer Box

装置の電源を切断した状態でボックスを取り付け、取り付け完了後に電源スイッチをオンにしてください。起動時、ボックスの電源インジケータが赤色になりファンが作動します。ピープ音の後、電源インジケータが緑色になりコンピュータが起動します。

一方、前面パネルの電源インジケータが青色に点灯します。これはデバイスが電源オン状態であることを示します。

4.2 エコモード

エコモードへの移行

前面パネルの電源ボタンを押すと、画面がオフになりエコモードに入ります。

デバイスの起動

デバイスを起動する4つの方法:

- 前面パネルの電源ボタンを押す。
- リモコンの電源オフボタンを押す。
- 画面の任意の場所を2回タッチする。

4.3 シャットダウン

● コンピュータボックスが接続されていない場合、またはコンピュータボックスの電源がオフになっている場合は、デバイスの電源を直接オフにしてシャットダウンしてください。

● コンピュータボックスが起動している状態でデバイスがインストールされている場合、**[スタート]**をタップし、シャットダウンを選択するか、コンピューターボックスの電源ボタンを押してシャットダウンします（強制シャットダウン）。その後、デバイスの電源を切り、シャットダウンしてください。

 **Note**

デバイスの電源を直接切ると、コンピューターボックスが強制的にシャットダウンします。次回起動時、Windowsがエラー回復モードに入り、画面タッチが無効になる可能性があります。この場合、デバイスにマウスとキーボードを接続する必要があります。

- リモコンの電源オフボタンを長押ししてください。

第5章 メニュー操作

Note

ソフトウェアのインターフェースや機能は、デバイスモデルによって異なる場合があります。本マニュアルの図はすべて説明用のイメージです。

デバイスの電源を入れ、メインページに移動します。ショートカットメニューは画面下部に表示されます。

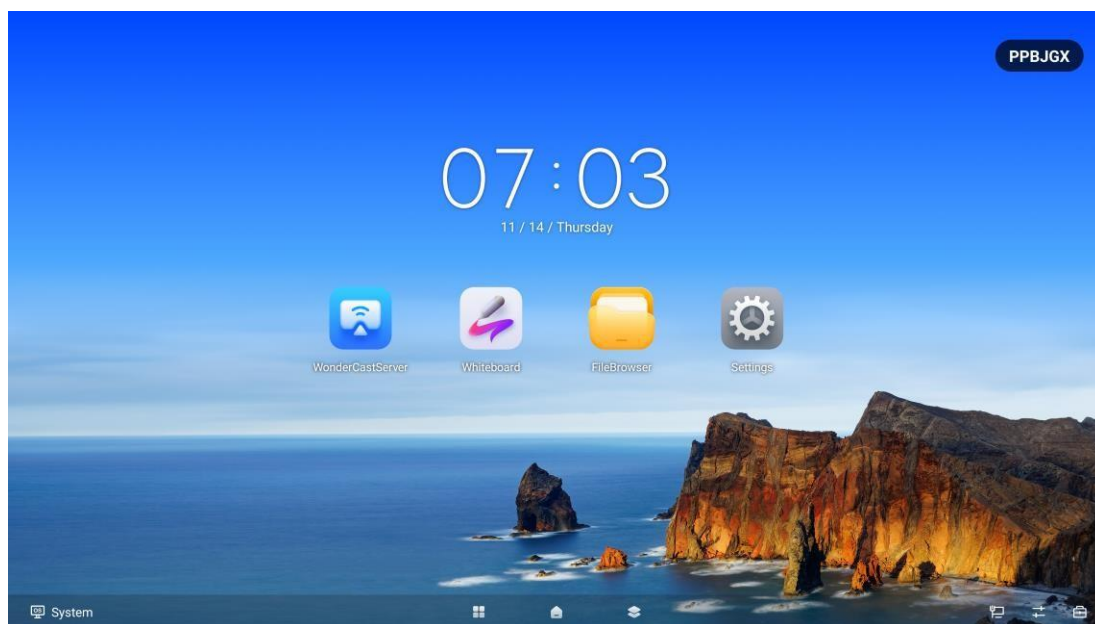


Figure 5-1 メインページ

Note

メイン画面のアプリケーションアイコンを長押しすると、以下の操作が可能です：

- アプリケーションを画面間で移動する。
- 他のアプリケーションとフォルダに統合する。

5.1 基本操作

ショートカットアイコンの機能は以下の通りです。



Figure 5-2 ショートカット

Table 5-1 ショートカットの説明

No	機能	No.	機能
1	タップすると、下部のメニューバーを非表示にします。	6	タップして、すべてのアプリまたはプロセスのチェックをオンまたはオフにします。
2	前のページに戻るにはタップします。	7	タップしてネットワークパラメータとホットスポットを設定します。
3	タップして入力ソースを選択してください。	8	タップして明るさと音量を設定します。
4	タップしてすべてのアプリケーションを確認します。 長押しすると、選択したアプリケーションを分割画面モードまたはウィンドウモードで表示するために移動できます。	9	タップしてコントロールメニューを開きます。
5	タップしてメインページに戻ります。	/	/

Note


斜めのストロークがオフの時は最大20本のペンが使用可能ですが、オンの時は1本のペンです。下部バーメニューが非表示になった後、をタップして呼び出せます。



Figure 5-3 ボトムバーを呼び出す

5.2 システムバー

システムバーの領域を長押しすると、システムバー内のアプリのレイアウトを変更できます。

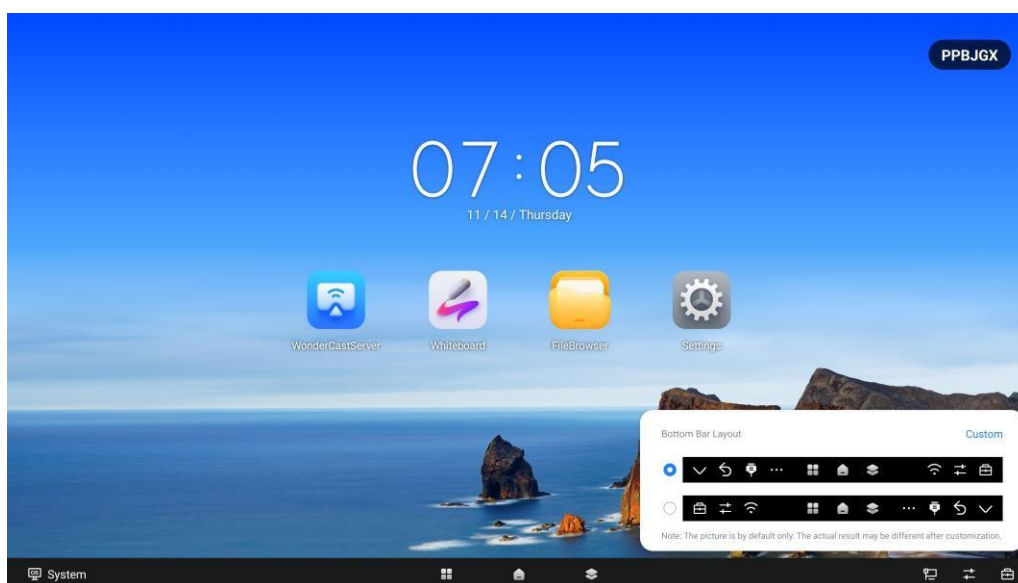


Figure 5-4 システムバーのレイアウト

「カスタマイズ」をクリックし、アイコンを移動して位置を調整します。

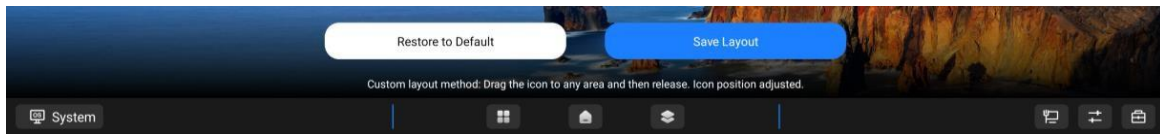


Figure 5-5 システムバーのレイアウトをカスタマイズする


5.3 入力ソース

下部の入力ソースアイコンをタップし、デバイスの入力ソースを設定します。システム、HDMI 1、HDMI 2、Type-C、DP、VGA が利用可能です。

5.4 ネットワーク

有線ネットワーク、無線ネットワーク、WLANホットスポットの詳細なパラメータを設定します。詳細はネットワーク [設定](#)

5.5 コントロールメニュー

下部の「」をタップしてコントロールメニューを表示します。以下の操作が可能です。

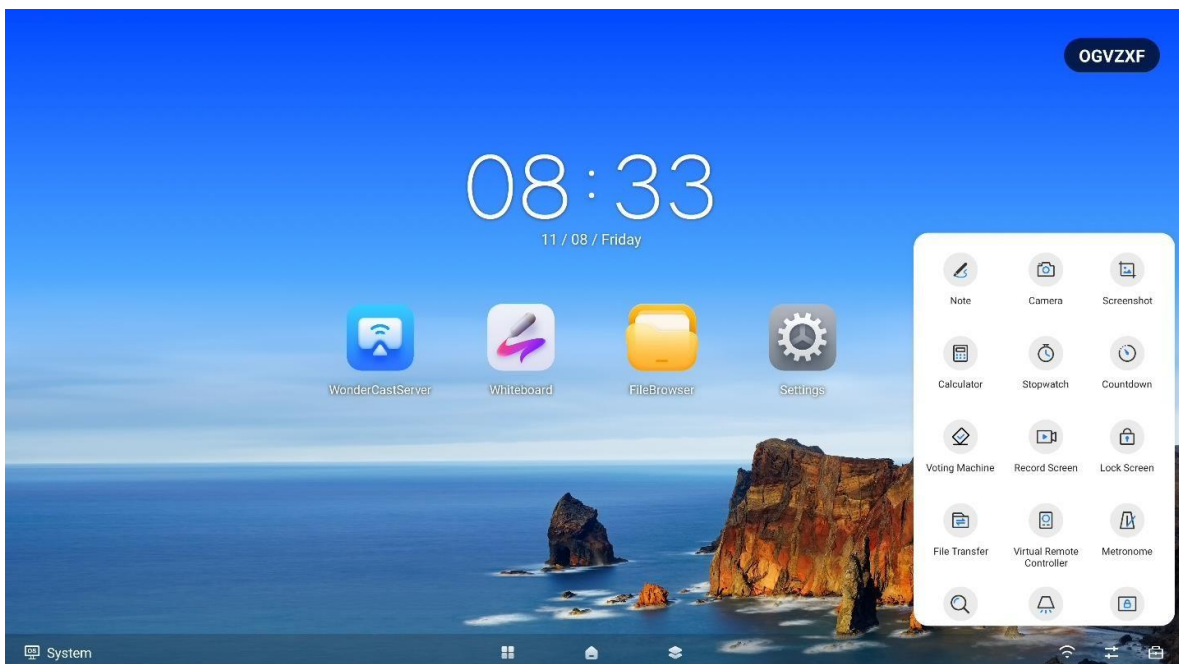



Figure 5-6 コントロールメニュー

Table 5-2 コントロールメニューの説明

ツール	説明
注記	現在のページに注釈を追加します。
カメラ	デバイスに接続されたカメラを開きます。
スクリーンショット	現在のページをキャプチャします。
計算機	内蔵電卓を有効にします。
ストップウォッチ	時間を計測します。
カウントダウン	ゼロまで秒数をカウントダウンします。
投票機	投票設定を設定して投票する。
画面録画	画面を動画として録画します。
画面をロック	タップしてタッチロックを有効にすると、ロックされたページではタッチ操作が利用できなくなります。ロックをタップして解除すると、タッチ機能が通常に戻ります。
ファイル転送	ファイルを転送します。
仮想リモコン	仮想コントローラーを有効にします。ホバー表示のリモコンメニューは、上、下、左、右、確定、戻る、ホームボタンをサポートしており、ホバー表示の仮想リモコンの位置は移動できます。
メトロノーム	タップするとメトロノームが表示されます。スタートボタンをタップすると、ビートが聞こえます。音符とビートは調整可能です。
拡大鏡	拡大鏡をタップ。画面をタッチするとズーム円が表示され、移動して詳細を確認できます。円のサイズを調整可能です。
スポットライト	タップすると開口部が有効になります。明るさとサイズを調整できます。
画面固定	現在のページを静止表示します。
ブラックスクリーン	タップすると画面をオフにします。
カレンダー	日付情報を確認します。
ピアノ	仮想ピアノツール。
ランダム選択	オプションの数を選択し、ランダムに1つを選ぶ。

5.5.1 Note

 → ノートでメモを取ります。画面をタッチして移動することで、ページのどこにでもノートを追加できます。

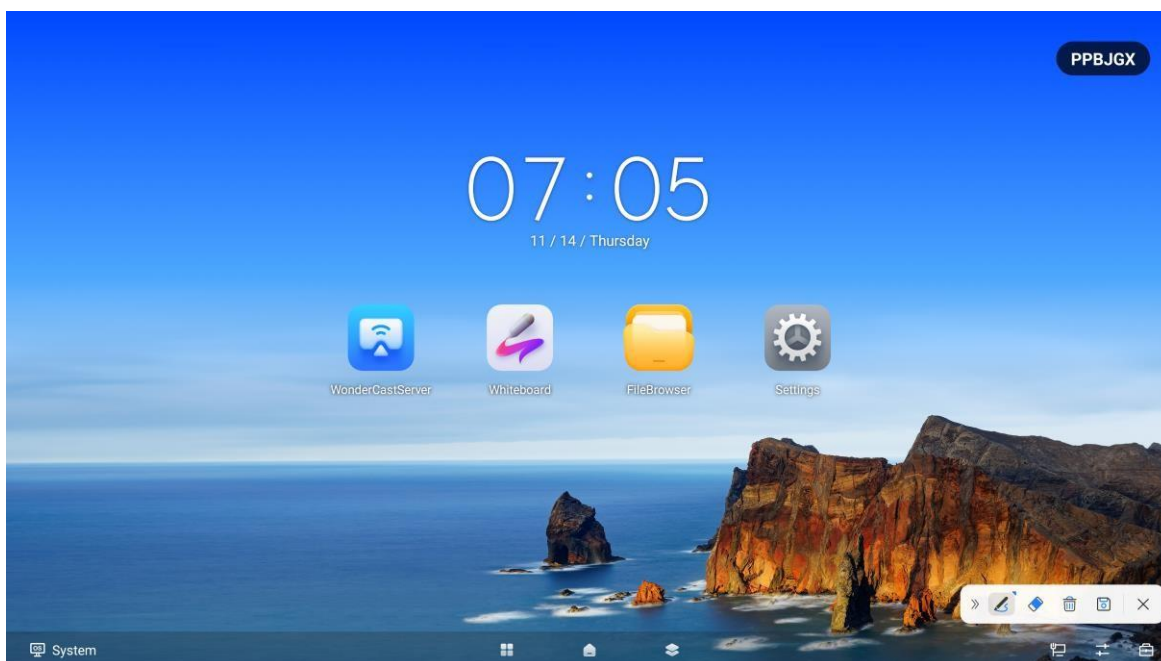








Figure 5-7 メモを取る

Table 5-3 アイコンの説明

アイコン	説明
	ペン色とサイズはカスタマイズ可能です。 角度ストロークを有効にするかどうかの切り替え。タップすると角度ストローク付きの線が表示され、タップすると角度ストロークなしの線になります。
	必要なメモを消去します。
	すべてのノートを消去します。
	現在のページを保存します。 フラットパネルがLANに接続されている場合、ノートのQRコードを生成します。同じLAN内のデバイスはQRコードをスキャンしてノートをダウンロードできます。
	ノートを終了する。
	ノートツールバーを折りたたむ/展開する。

 **Note**

斜めのストロークがオフの時は最大20本のペンが使用可能ですが、オンの時は1本のみです。

5.5.2 Screenshot


 → **Screenshot** に移動すると、現在のページにキャプチャ領域が表示されます。四隅をタップしてドラッグし、領域を調整してください。スクリーンショットツールバーは領域の右下隅に表示されます。



Figure 5-8 スクリーンショット

Table 5-4 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
←	スクリーンショットを終了します。
🔄	ページ全体をキャプチャします。
🔗	スクリーンショットからQRコードを生成し、同じLAN内のデバイスがQRコードをスキャンしてスクリーンショットをダウンロードできます。
✓	キャプチャ領域にスクリーンショットを保存してください。

5.5.3 Vote Machine

フラットパネルを公共ネットワークに接続後、コントロールメニューの「投票」をクリックしてください。クイック投票または設定済みオプションに基づく投票を選択できます。

開始前に

デバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。

クイック投票

手順

Step 1 クイックをクリックして投票オプションの数を選択します。

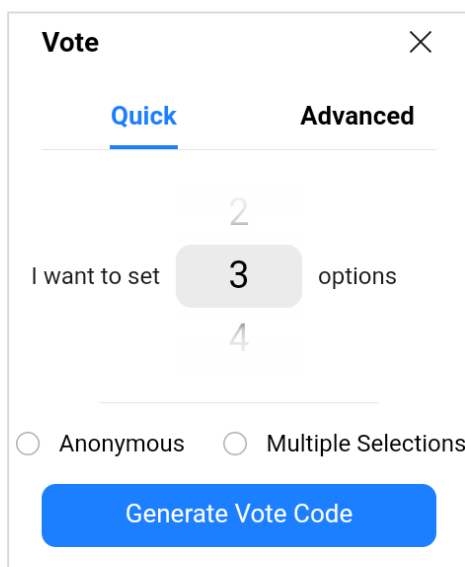


Figure 5-9 クイック投票

Step 2 実際のニーズに応じて、以下のパラメータを設定してください。

- 匿名: 名前なしで投票します。
- 複数選択: 投票時に複数の選択肢を選択できます。

Step 3 「投票コードを生成」をクリックし、携帯電話でコードをスキャンして投票します。



Figure 5-10 携帯電話で投票

Step 4 投票結果を見るをクリックして投票を終了し、詳細を確認してください。

Step 5 オプション: 携帯電話で投票結果をダウンロードするには、「スキャンしてダウンロード」をクリックしてください。

事前投票

手順

Step 1 「詳細」をクリックし、携帯電話でQRコードをスキャンして投票を設定します。



Figure 5-11 詳細投票

Step 2 実際のニーズに応じて、以下のパラメータを設定してください。

- 投票テーマ/投票オプション：カスタム設定。
- 匿名：名前なしで投票。
- 複数選択：投票時に複数の選択肢を選択可能。

Step 3 「投票を開始」をクリックし、携帯電話でコードをスキャンして投票します。Step 4


「投票結果を表示」をクリックして投票を終了し、詳細を確認します。

Step 5 オプション：携帯電話で投票結果をダウンロードするには「スキャンしてダウンロード」をクリックしてください。

5.5.4 Random Select

教室では、くじ引きを始めたり、ランダムに生徒を選んで質問に答えさせることができます。

手順

Step 1  → ランダム選択 に移動し、選択肢の数を設定します。次へをクリックします。

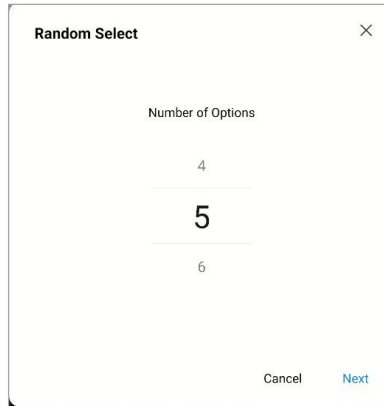



Figure 5-12 選択肢の数を設定

Step 2 「」をクリックして運試しホイールを回転させ、再度クリックすると停止します。するとランダムに選ばれた選択肢が表示されます。

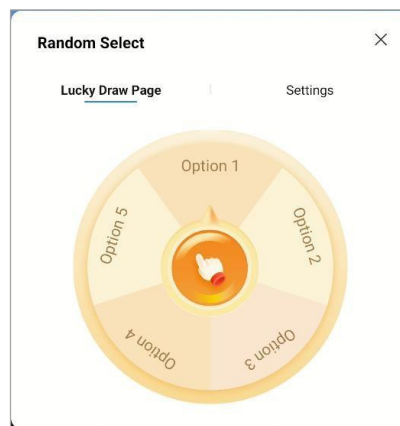


Figure 5-13 ラッキーホイール

 **Note**

設定をタップすると、オプションの名前を編集できます。

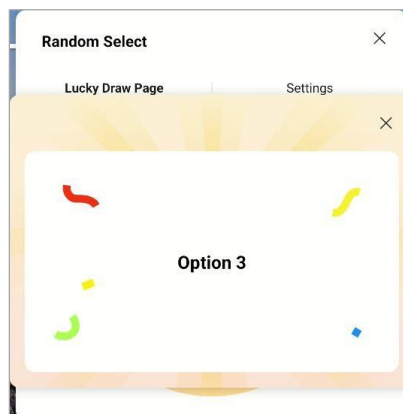


Figure 5-14 選択されたオプション

5.6 カメラ機能

5.6.1 Camera

カメラをクリックすると写真や動画を撮影できます。

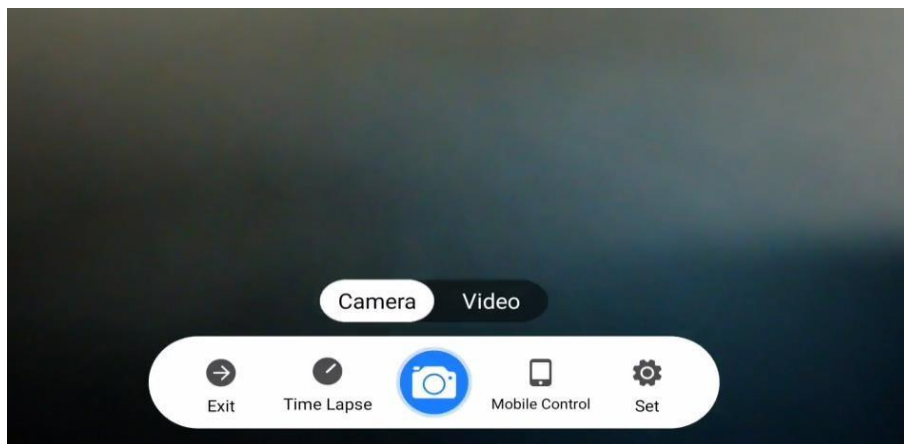


Figure 5-15 カメラ

Table 5-5 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	カメラを終了します。
	選択した遅延時間に従って撮影を遅延させます。
	写真を撮る。写真をホワイトボードにインポートしたり、携帯電話に保存したりできます。
	携帯電話とデバイスが同じLANに接続された後、コードをスキャンしてカメラを制御し、写真を撮ることができます。

5.6.2 Video

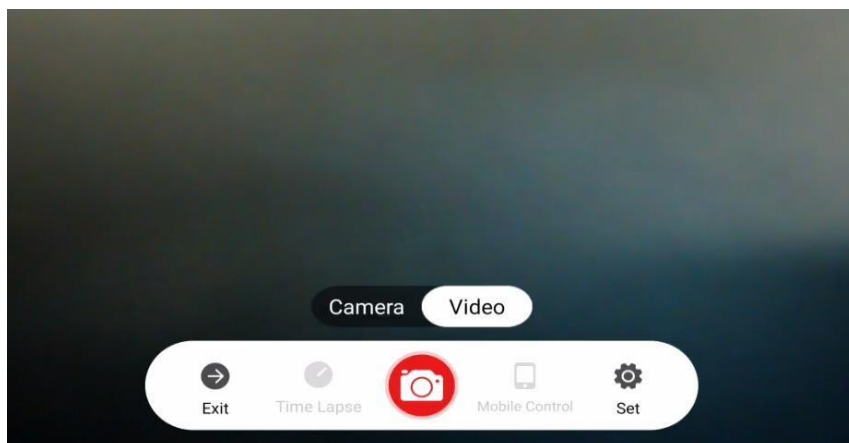




Figure 5-16 ビデオ

Table 5-6 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	ビデオを終了します。
	録画を開始します。

5.6.3 Settings

設定をクリックして、以下のパラメータを設定します。

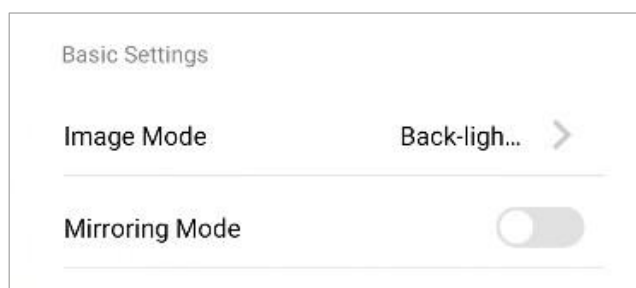


Figure 5-17 カメラ設定

画像モード

クリックして、標準、鮮やか、逆光などの画像モードを選択します。ミラーリングモード

カメラの映像をミラーリングする機能を有効にします。




第6章 システム設定

デバイスの電源投入後、画面にはメインページが表示されます。画面を左または右にスライドすると、アプリケーション、デバイスのステータス、ヘルプドキュメントを表示できます。

6.1 ネットワーク設定

ネットワークステータスは画面下部に表示されます。

Table 6-1 ネットワークの状態

アイコン	説明
	有線ネットワークに接続されています。
	ワイヤレスネットワークに接続されています。
	ネットワークに接続されていません。

6.1.1 Wired Network Settings

手順

Step 1 設定 → ネットワーク → 有線ネットワーク に移動します。有線ネッ

Step 2 トワークを有効にします。

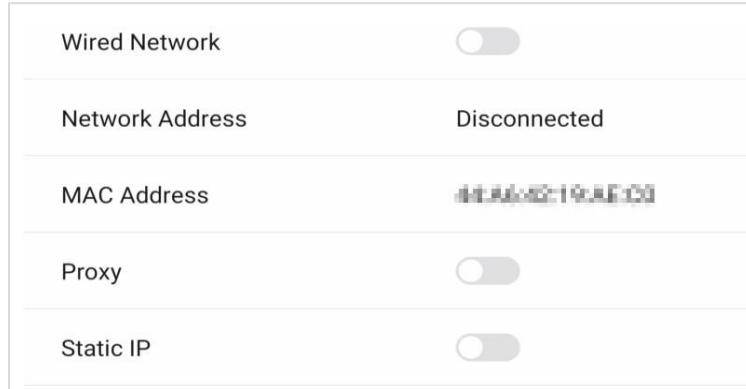


Figure 6-1 有線ネットワーク設定

Step 3 オプション: タップしてプロキシまたは静的IPを有効に

します。プロキシ設定

プロキシを有効にした場合、プロキシホストとポート番号を設定し、プロキシを使用しないURLを設定する必要があります。

Proxy	<input checked="" type="checkbox"/>
Port	<input type="text"/>
Port No.	<input type="text"/>
The following address do not use	<input type="text"/>

Figure 6-2 プロキシ設定

静的 IP 設定

静的 IP を有効にした場合、**静的 IP**、**ゲートウェイ**、**サブネットマスク**、**DNS1**、**DNS2** などのネットワークパラメータを設定する必要があります。

Static IP	<input checked="" type="checkbox"/>
Static IP	<input type="text"/>
Gateway	<input type="text"/>
Subnet Mask	255.255.255.0
DNS 1	8.8.8.8
DNS 2	8.8.8.8

Figure 6-3 静的 IP 設定

6.1.2 Wireless Network Settings

手順

Step 1 設定 → ネットワーク → **無線ネットワーク** に移動します。

Step 2 WLANを有効にすると、新しいネットワークを追加したり、利用可能なネットワークに接続したりできます。

利用可能なネットワークに接続する

- 利用可能なネットワーク一覧から目的のネットワークをタップし、パスワードを入力して接続します。
- 「**接続**」をタップすると、ネットワーク情報ページが表示されます。選択したネットワークの情報を削除するには「**ネットワークを消去**」をタップします。「**キャンセル**」をタップするとページを終了します。

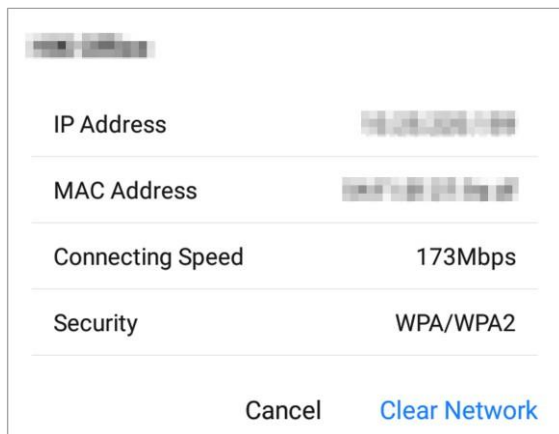


Figure 6-4 ワイヤレスネットワーク情報

その他のネットワークを追加

手順

Step 1 「その他のネットワークを追加」をタップします。

Step 2 Wi-Fi 名を入力し、セキュリティを選択します。

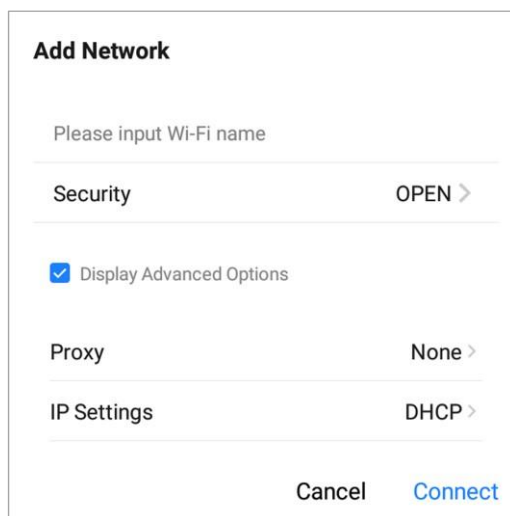


Figure 6-5 その他のネットワークを追加

Step 3 オプション: プロキシとネットワークIPタイプを選択するには、[詳細設定を表示]をチェックします。Step 4

[接続]をタップして、デバイスを追加した無線ネットワークに接続します。

6.1.3 WLAN Hotspot Settings

デバイスが有線ネットワークに接続されている場合、WLAN ホットスポットを有効にして他のデバイスに無線ネットワークを提供できます。

手順

Step 1 設定 → ネットワーク → ホットスポットに移動します。

Step 2 ポータブル WLAN ホットスポットを有効にします。

ホットスポットの分離: ホットスポットの分離を有効にすると、デバイスが LAN に接続されていても、LAN 内のウェブサイトなどのリソースにアクセスできなくなります。

Step 3 ポップアップページでパラメータを設定します。


Portable WLAN Hotspot	<input checked="" type="checkbox"/>
Device Name	Please input network SSID
Security	WPA2 PSK >
Password 
AP Frequency	5 GHz >
AP Channel	153 >
Hotspot Isolation	<input type="checkbox"/>

Figure 6-6 ホットスポット設定

Note

デバイスが2.4 GHzと5 GHzの両方をサポートしている場合、ワイヤレス画面ミラーリングなどの機能性を高めるため、**AP周波数**に5 GHzを設定し、**APチャンネル**には推奨チャンネルを設定してください。

6.2 ディスプレイ設定

設定 → ディスプレイに移動し、明るさやスリープ時間などのパラメータを調整します。

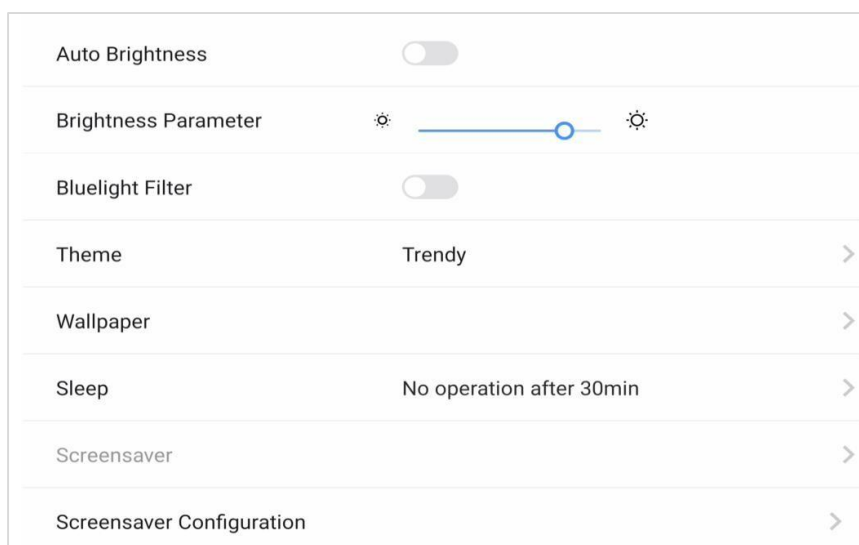


Figure 6-7 ディスプレイ設定

自動輝度

有効にすると、デバイスは環境に応じて自動的に輝度を調整します。

明るさパラメータ

スライダーをスライドさせて画面の明るさを調整します。

ブルーライトフィルター

ブルーライトをカットして目を保護する機能を有効にします。

テーマ

デバイスのテーマを設定します。**設定**をタップして目的のテーマを選択し、**適用**をタップします。**壁紙**

壁紙をタップして、壁紙ライブラリまたはシステム画像ライブラリから壁紙として使用する画像を選択するか、デフォルトの壁紙に戻します。

スリープ

スリープモードの非アクティブ期間を設定します。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを有効にする非アクティブ期間を設定します。

スクリーンセーバーの設定

タップしてポップアップページでスクリーンセーバー画像を選択し、「**ライブビュー**」をタップして効果をプレビューします。**適用**をタップすると、選択した画像をスクリーンセーバーに設定できます。スクリーンセーバーはカスタマイズも可能です。

 **Note**

スクリーンセーバー設定で新しいスクリーンセーバー画像を追加するには、[+]をタップします。

6.3 オーディオ設定

手順

Step 1 設定 → オーディオ に移動し、オーディオパラメータを設定します。

Step 2 実際の設置方法に基づいてオーディオモードを選択します。

- 通常モード：低音あり、自然な音質;
- 会議モード：クリアなボーカルに焦点を当て、低音を低減。デフォルトの会議モードです。音量値を調整してください。

Step 3

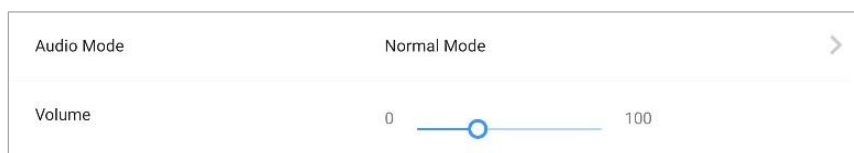


Figure 6-8 オーディオ設定

6.4 言語と入力設定

手順

Step 1 設定 → 言語と入力 に移動します。

Step 2 「言語」をタップして希望の言語を選択します。

Step 3 入力方法をタップして、希望の入力方法を選択します。

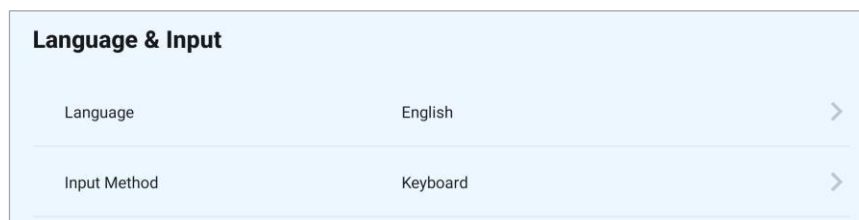


Figure 6-9 言語と入力設定

6.5 日付と時刻の設定

手順

Step 1 設定 → 日付と時刻 に移動します。

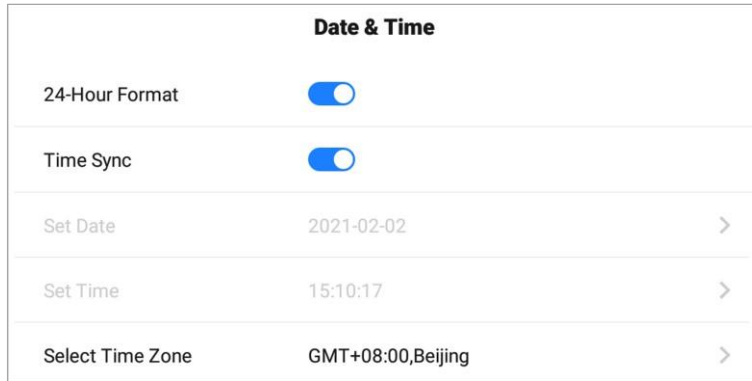


Figure 6-10 日付と時刻の設定

Step 2 時刻の同期を有効にします。

Step 3 「タイムゾーンを選択」をタップして地域を選択します。

Step 4 オプション: 24時間形式を有効にすると、時刻が24時間形式で表示されます。

 **Note**

時刻同期が無効の場合、日付と時刻を手動で設定できます。

6.6 アプリケーション管理

手順

Step 1 設定 → アプリケーション管理 に移動します。詳細を確認したいアプリケーションをタップします。

Step 2

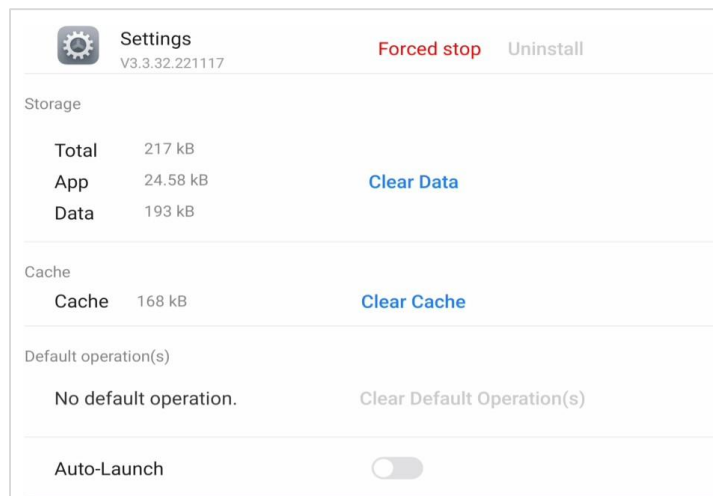


Figure 6-11 アプリケーションの詳細

 **Note**

- 内蔵アプリケーションはアンインストールできません。**アプリケーション詳細**のアイコンをタップするとアプリケーションを開けます。
- サードパーティ製アプリケーションのインストール後、4K表示を有効にできます（機器の再起動後に有効になります）。

Step 3 自動起動を有効にします。選択したアプリケーションは、デバイスの電源投入時に自動的に起動します。

6.7 Bluetooth

リモコン、オーディオ、キーボードなどをBluetooth経由で接続でき、ファイル転送も可能です。

Bluetoothを有効にして、近くにある利用可能なデバイスを検索し、接続したいデバイスをタップします。

6.8 補助機能

6.8.1 Temperature Control

本デバイスは内部温度をリアルタイムで監視します。設定した警告温度または警報温度を超えた場合、デバイスはプロンプトメッセージを表示し、タイムリーな対応を促します。

手順

Step 1 設定 → **補助機能** → **温度制御** に移動します。

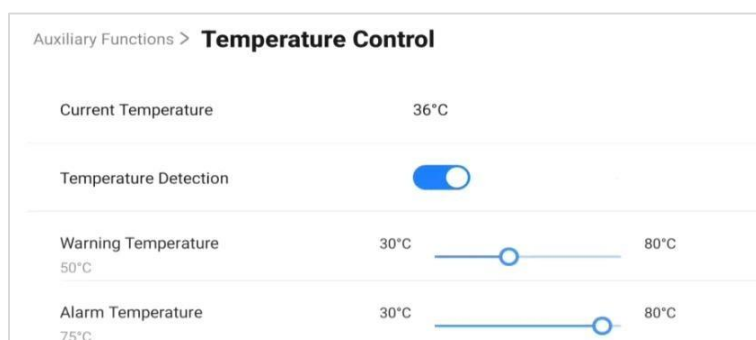


Figure 6-12 インテリジェント温度制御

Step 2 温度検出を有効にする。

Step 3 スライダーをスライドさせて警告温度と警報温度を設定してください。

 **Note**

設定した警報温度を超えた場合、温度情報がポップアップ表示され、デバイスの電源を切るよう促します。

6.8.2 Physical Button Settings

物理ボタンの機能はカスタマイズ可能です。

手順

Step 1 設定 → 補助機能 → 物理ボタン設定 に移動します。

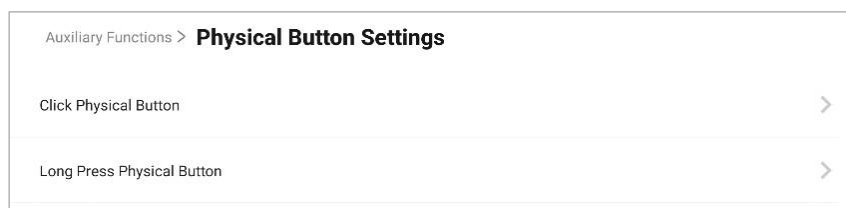


Figure 6-13 物理ボタンの設定

Step 2 物理ボタンをタップして、次のいずれかの機能を設定します： OPSスイッチ、クイック録画、ホワイトボードのクイックオープン、PCへの切り替え、または操作なし。デフォルト設定はPCへの切り替えです。物理ボタンを押すと、デバイスはPCに切り替わります。

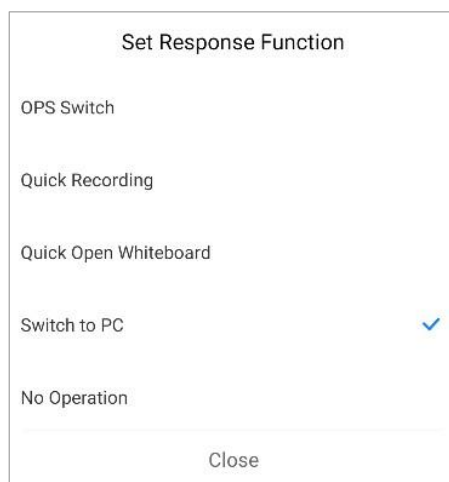
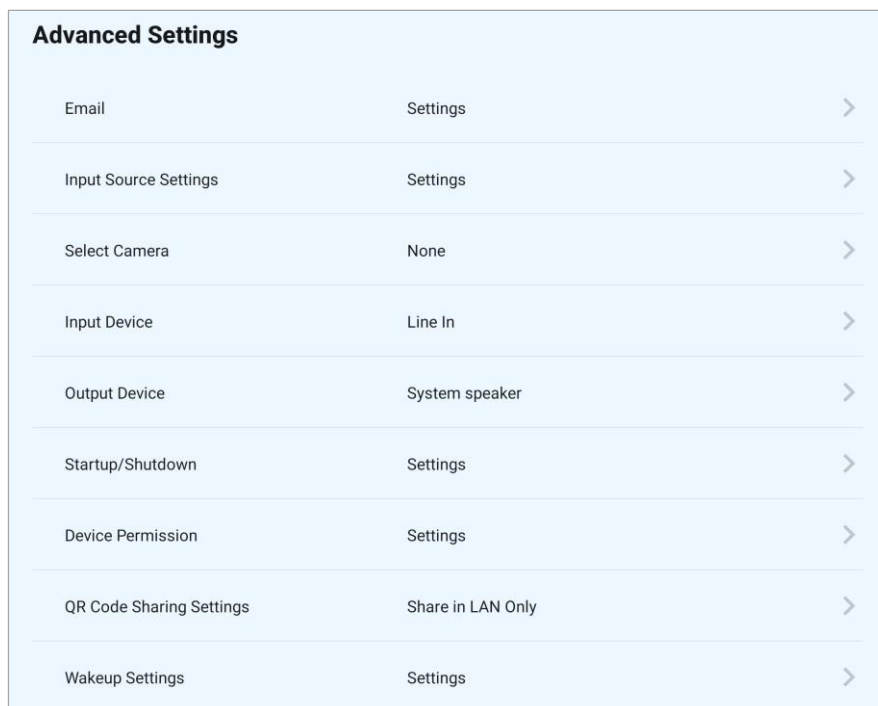


Figure 6-14 応答機能設定

Step 3 物理ボタンを長押しをタップして機能を設定します。物理ボタンを長押しすると、設定した対応する機能が動作します。

6.9 詳細設定

設定 → 詳細設定 を選択します。以下のパラメータを設定できます。



Advanced Settings		
Email	Settings	>
Input Source Settings	Settings	>
Select Camera	None	>
Input Device	Line In	>
Output Device	System speaker	>
Startup/Shutdown	Settings	>
Device Permission	Settings	>
QR Code Sharing Settings	Share in LAN Only	>
Wakeup Settings	Settings	>

Figure 6-15 詳細設定

Eメール

ホワイトボードから共有コンテンツを受信するメールアドレスを設定します。

入力ソース設定

● 起動時入力ソース

デフォルトの起動入力ソースは **Android** です。カスタム入力ソース名もサポートされています。
名を変更できます。

● 信号源接続時の自動切り替え

この機能が有効の場合、外部入力ソースが接続されると、システムは新しく接続された入力ソースに切り替わります。

● 信号源からの切断時に自動切替

この機能を有効にすると、外部入力ソースからデバイスが切断されると、システムは設定済みの入力ソースに切り替わります。

カメラの選択

デバイスに紐付けられているカメラの中から選択します。

入力デバイス

外部USB入力オーディオデバイスに対応し、複数のデバイスからオーディオ入力デバイスを選択できます。

出力デバイス

外部USB出力オーディオデバイスをサポートし、複数のデバイスからオーディオ出力デバイスを選択できます。

起動/シャットダウン設定

- 起動モード
起動またはスタンバイを選択します。
- スケジュールによる電源オン/オフ
起動およびシャットダウンのスケジュールを設定します。
- 信号なしシャットダウン
信号が受信できない場合の自動シャットダウン時間を設定します。

デバイスの権限設定

- Wi-Fiを無効にする
Wi-Fiが無効の場合、デバイスは無線ネットワークに接続できません。
- USBフラッシュドライブを無効にする
USBフラッシュドライブを無効にすると、外部ストレージデバイスは使用できなくなります。

QRコード共有設定

ホワイトボードの内容をQRコードで共有します。

ウェイクアップ設定

- シリアルポートからの起動
この機能を有効にすると、スタンバイ状態のデバイスをシリアルポートコマンドで起動できます。
- 信号源からのウェイクアップ
HDMI信号による起動はデフォルトで有効です。デバイスが電源オフ状態の場合、HDMI入力により電源を入れることができます。

Note

この機能を無効にした場合、スタンバイ状態のデバイスは電源スイッチまたはリモコンの電源ボタンで起動でき、シリアルポートやHDMI経由での起動はできません。

EDIDバージョン

EDID のバージョン選択をサポートします。

省エネシャットダウン

シャットダウンをクリックすると、デバイスの電源がオフになり、省エネになります。

6.10 ユーザー設定

設定 → ユーザー設定 に移動し、アカウント情報とログイン方法を設定してください。

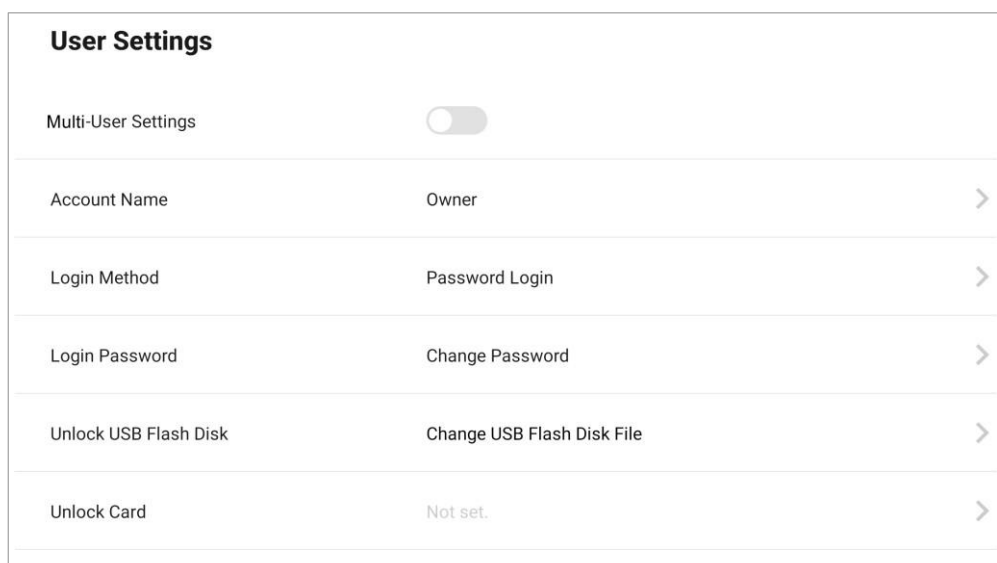


Figure 6-16 ユーザー設定

マルチユーザー設定

マルチユーザー設定を有効にすると、現在のユーザーの編集、ログイン方法の設定、アカウントの追加、変更、削除が可能になります。

アカウント名

ご自身のアカウント名を設定 編集できます。

ログイン方法

パスワード不要ログインまたはパスワードログインからログイン方法を選択します。ログインパスワード

タップしてログインパスワードを設定 変更します。

USBフラッシュディスクのロック解除

タップしてUSBフラッシュディスクでのログイン方法を設定します。

手順

USBフラッシュディスクのロック解除をクリックします。

Step 1

ログインパスワードを入力し、USBフラッシュドライブを1本挿入してください。

Step 2

ファイル生成をクリックします。デバイスが自動的にUSBフラッシュドライブ内にアンロックファイルを生成します。ファイル生成後、次回はUSBフラッシュドライブを直接挿入するだけで簡単にログインできます。

Step 3



Figure 6-17 アンロック用USBフラッシュドライブをリンク

アンロックカード

タップしてアンロックカードによるログイン方法を設定します。

手順

Step 1 「アンロックカード」をクリックします。

Step 2 ログインパスワードを入力すると、アンロックカードをリンクできます。

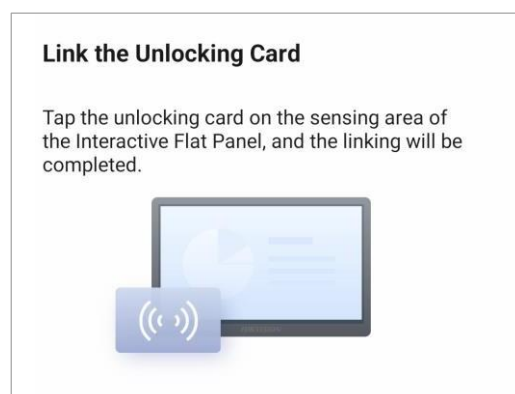


Figure 6-18 アンロックカードをリンク

Step 3 デバイスのNFC感知エリアにアンロックカードをタップしてください。リンク完了後は、次回ログイン時に感知エリアに直接アンロックカードをタップするだけでログインできます。

6.11 デバイス情報

設定 → 端末情報 で端末情報を確認できます。端末名はカスタマイズ可能で、端末をデフォルト設定に復元できます。

Caution

設定をデフォルト状態に復元すると、すべてのデータが失われます。

6.12 ネガティブスクリーン

画面の左側から右へスライドすると、デバイスの状態やシステムヘルプを確認できるネガティブスクリーンが表示されます。

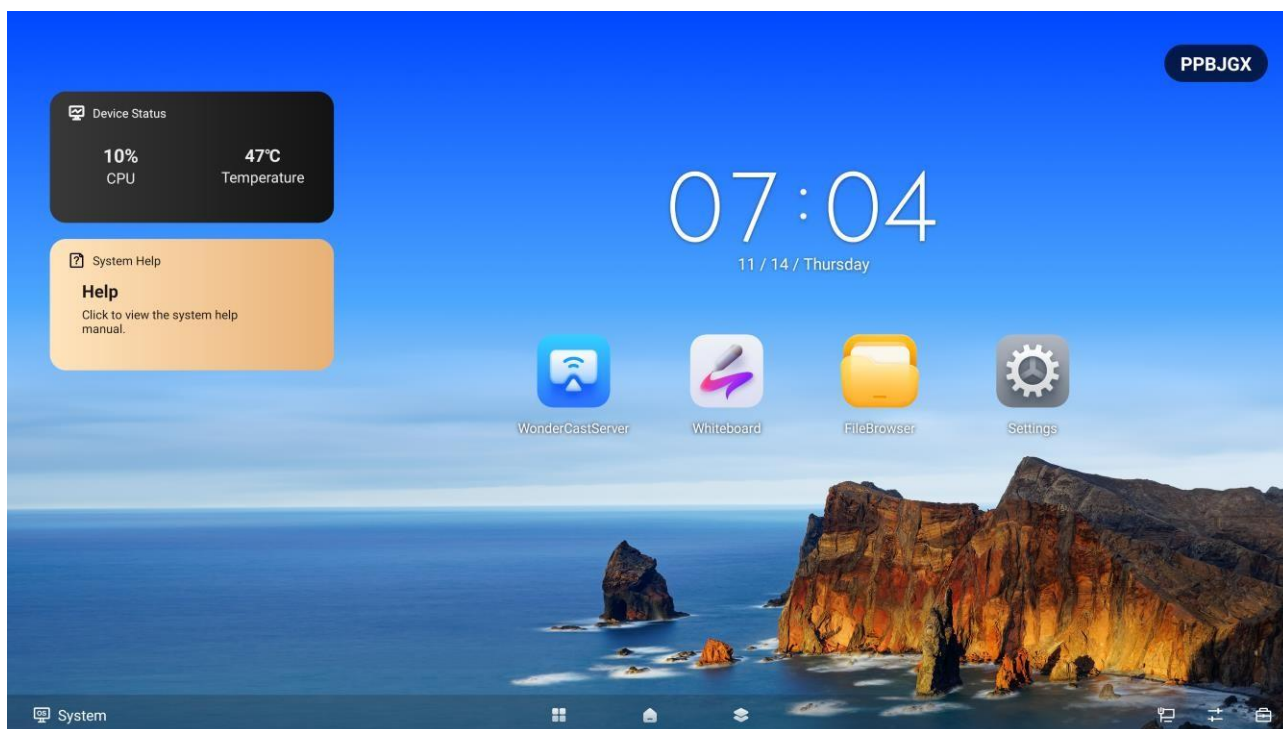


Figure 6-19 ネガティブ画面

第7章 インテリジェントアプリケーション

7.1 ファイルブラウザ

メインページで「ファイルブラウザ」をタップします。デフォルトでは、現在のディレクトリにあるすべてのファイルが表示されます。「画像」、「文書」、「AV」、「インストールパッケージ」をタップすると、指定したファイルを表示できます。

アイコンの説明は以下の通りです。

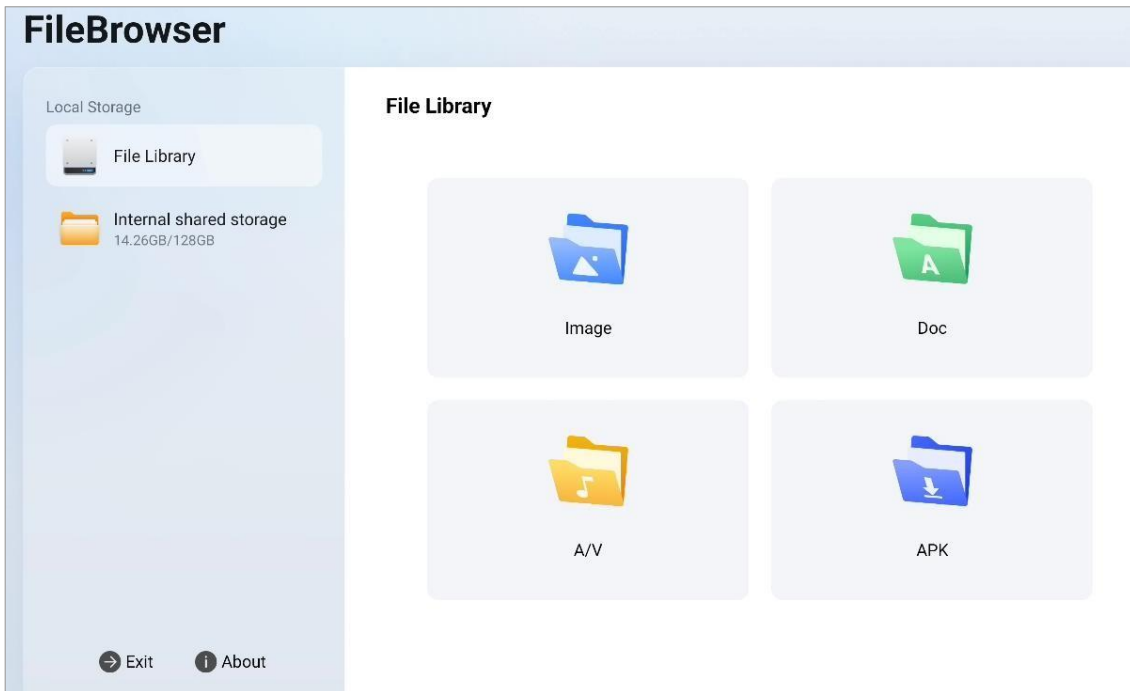



Figure 7-1 ファイル管理

Table 7-1 ファイル管理アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
戻る/進む	前のページ/次のページへ移動します。	作成	新しいフォルダを作成します。
グリッド/リスト	ファイルをグリッドまたはリストモードで表示します。	並べ替え	ファイルの順序を変更します。
編集	ファイルを編集します。	-	-

 をクリックして文書を編集します。その他の機能は以下の通りです。

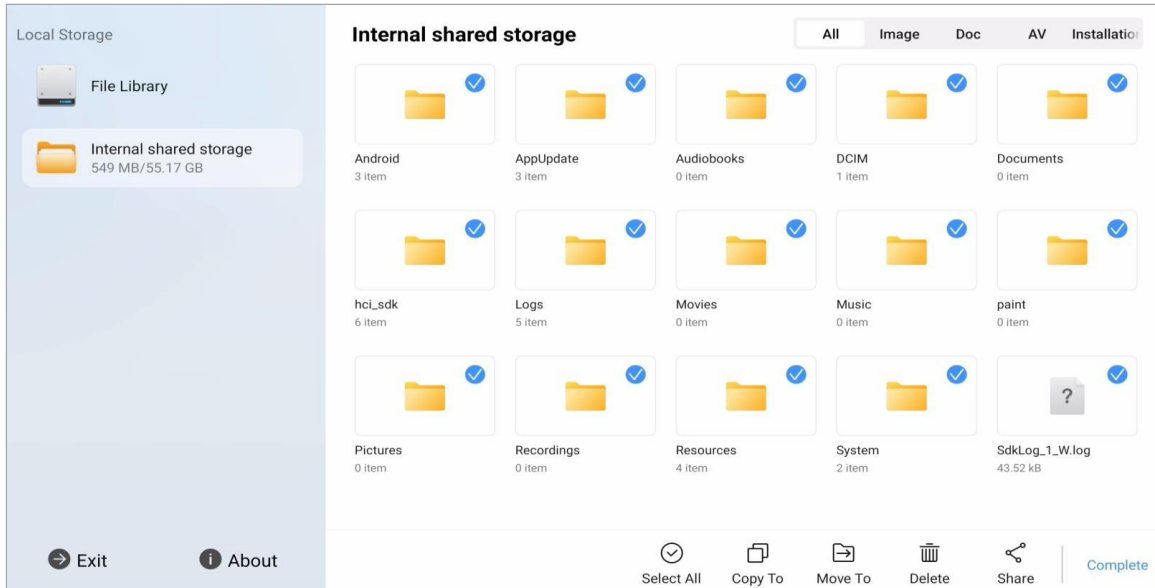


Figure 7-2 ファイルを編集する

Table 7-2 編集アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
すべて選択	すべてのファイルを選択します。	コピー	選択したファイルを別のフォルダにコピーします。
移動	選択したファイルを別のフォルダに移動します。	削除	選択したファイルを削除します。
共有	選択したファイルを共有します。	/	/

Note




ファイルを長押しして他の操作を実行します。

7.2 ブラウザ

デバイスをインターネットに接続し、**ブラウザ**をタップします。アドレスバーにURLを入力すると、インターネット上のテキスト、画像、音声、動画を閲覧できます。

7.3 ホワイトボード

ホワイトボードは、タッチ書き込み、画像挿入、コンテンツ共有などの機能を統合した編集ソフトウェアです。ユーザーは、タッチ書き込み、消去、ページ切り替え操作のために、異なる背景を持つボードを追加できます。画像のインポートと編集をサポートし、ホワイトボードのコンテンツが完成した後、ローカルに保存したり、メールで共有したりできます。



- : 選択範囲内のコンテンツをロックします。ロックを解除するには、範囲を長押しするか、 をタップしてください。
- : 領域内のコンテンツをコピーします。

Note


- 選択領域内のコンテンツのサイズ変更、移動、回転をサポートします。
- 選択範囲外をタップすると選択が解除されます。

元に戻す/やり直し

誤って書き込んだり消去したりした場合、元に戻すツールを使用して操作を元に戻せます。

- : クリックすると直前の操作を元に戻します；
- : クリックすると前の操作をやり直します。

7.3.2 More Tools

ツールバーの「」をタップすると、以下のツールが表示されます：

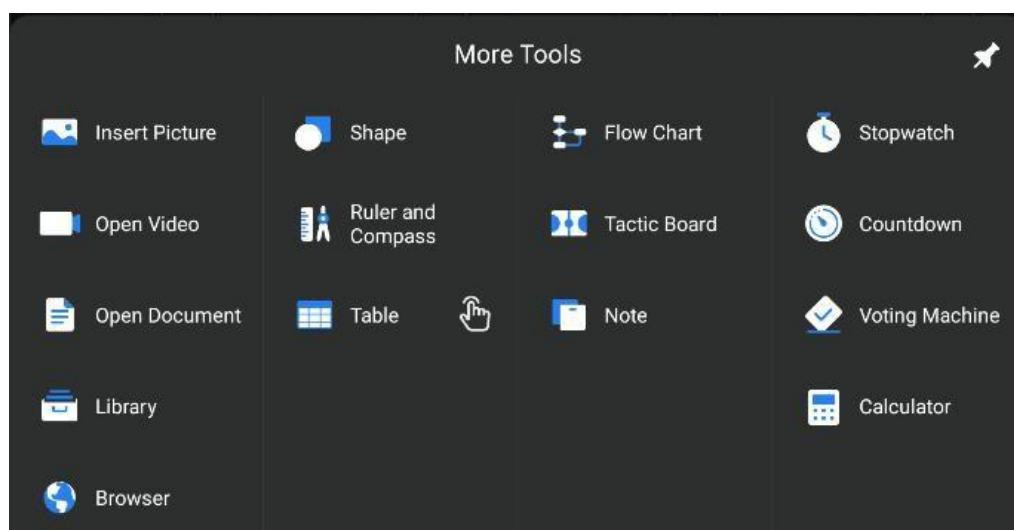




















Figure 7-5 その他のツール

Table 7-3 ツール説明

アイコン	名前	説明
	図形	2D および 3D 図形を挿入します。
	定規 とコンパス	定規、分度器、三角定規、コンパスを使用します。ドラッグしてサイズと角度を調整します。
	表	<ul style="list-style-type: none"> ● 表を挿入します。 ● 表を長押しして行や列を追加/削除します； ● テーブルをドラッグして移動またはサイズ変更します； ● テーブルをタップすると、テーブル内に書かれた内容の色を変更できます。 ●  をクリックし、形状認識を有効にします。水平線や垂直線を描画することでテーブル認識をトリガーできます。
	フローチャート	<ul style="list-style-type: none"> ● ホワイトボード上でフローチャートを描くために、様々な図形や線を選択できます。 ●  をクリックして図形バーを固定します。
	戦術ボード	タップしてバスケットボール戦術ボードを作成します。
	ノート	メモを挿入します。メモの移動、サイズ変更、コピー、色の変更をサポートしています。
	ストップウォッチ	ストップウォッチを開きます。
	カウントダウン	カウントダウンを開始します。
	投票機	投票機を開く。
	電卓	電卓を開く。
	画像を挿入	画像を挿入した後、画像をロック、サイズ変更、移動、回転、削除したり、領域内に書かれた内容の色を変更したりできます。
	ビデオを開く	動画ファイルを再生します。
	ドキュメントを開く	PPT、PPTX、DOC、DOCX、PDF形式の文書を開いて表示します。
	ライブラリ	タップして画像や動画を検索し、挿入します。
	ブラウザ	ホワイトボードの横にあるブラウザを呼び出します。

 **Note**

-  をクリックするとサイドバーが表示されます。

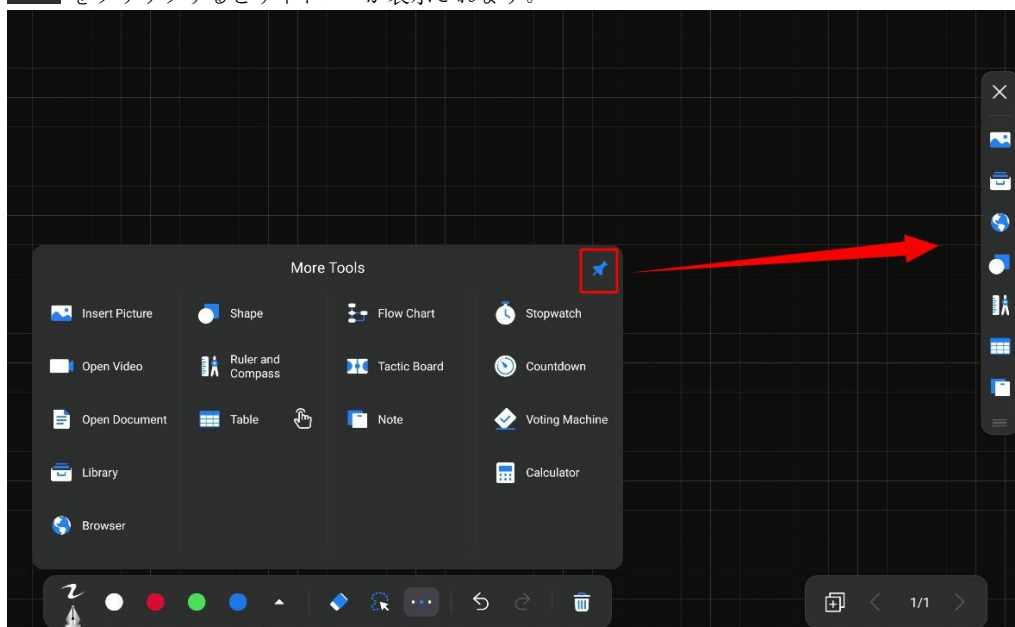


Figure 7-6 ツールサイドバー

- 図形や表の任意の角をクリックして拡大できます。

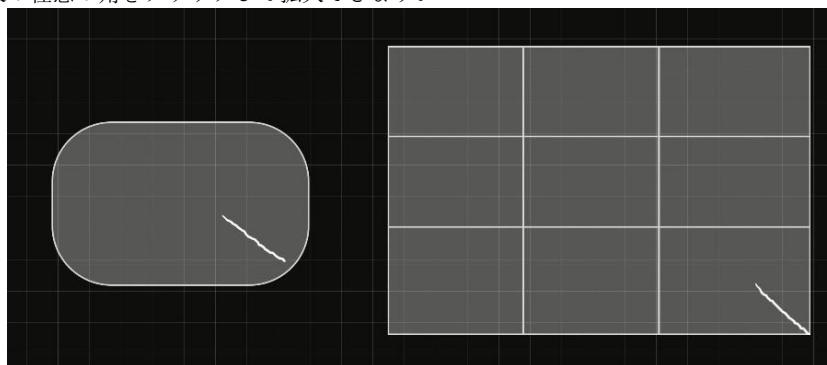





Figure 7-7 図形と表の拡大

- ライブラリとブラウザは、ホワイトボードアプリケーションが全画面表示の場合にのみサポートされます。
- 機能は状況によって異なる場合があります。実際のページをご参照ください。

戦術ボード

- 1) 「」をタップして戦術ボードを作成します。「」を移動させて選手の位置を変更します。
- 2) 右下の「」を有効にすると、選手に線を引けます。線種が表示されるので選択してください。

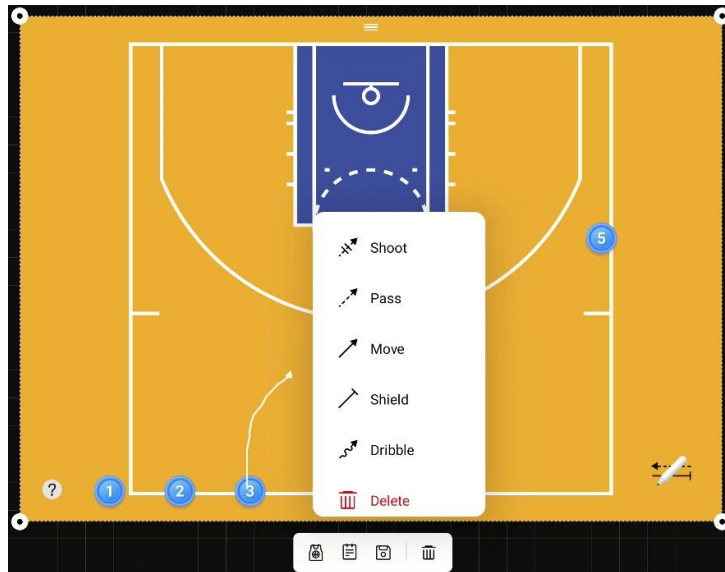




Figure 7-8 線種を選択

- 3) 「」をクリックして選手数を選択します。「」をクリックして戦術を選択します。

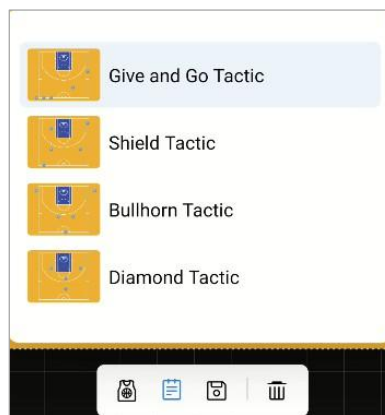





Figure 7-9 戦術を選択

- 4) ボード上に独自の戦術を描き、 をクリックして戦術に名前を付けて保存します。保存した戦術は  で確認できます。
- 5) 左下の「」をクリックすると機能ガイドが表示されます。

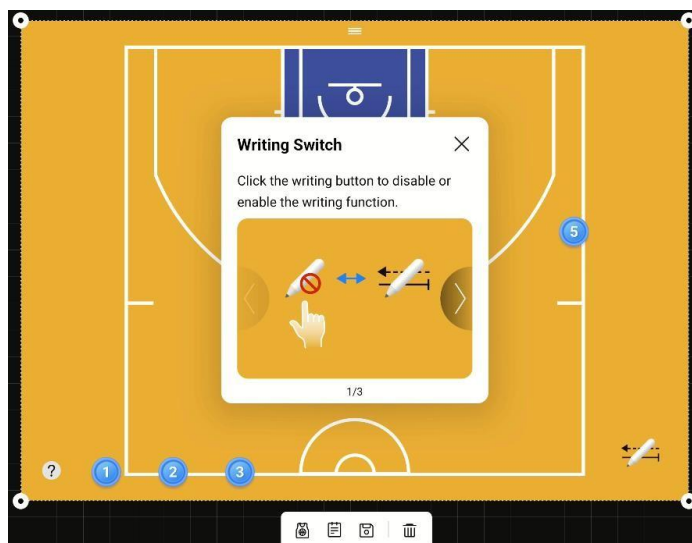


Figure 7-10 機能ガイド

ドキュメントを開く

PDF形式のホワイトボード文書を挿入して編集することができます。

手順

Step 1 現在のホワイトボードページをPDF形式で保存すると、ファイルは自動的にファイルブラウザに保存されます。

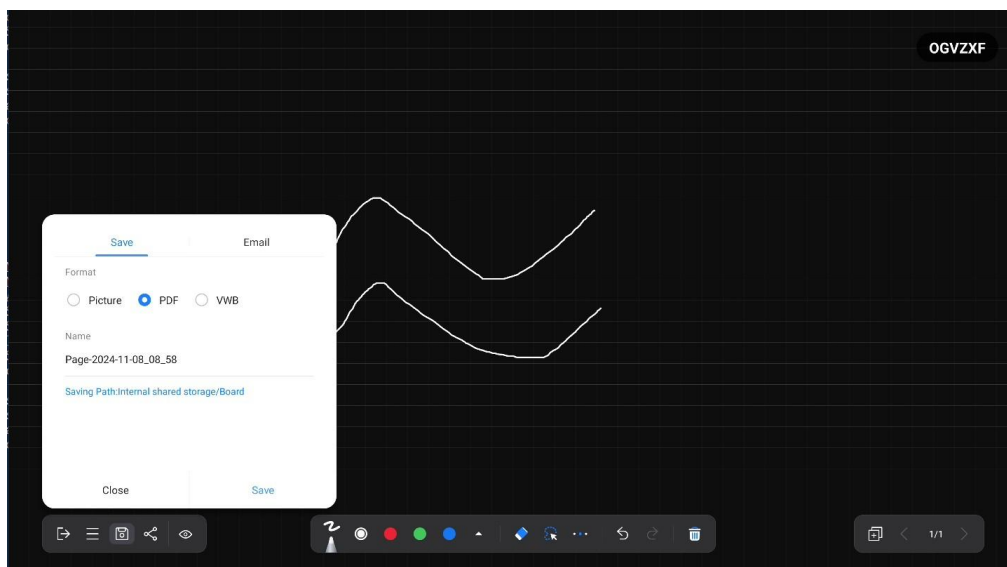


Figure 7-11 PDF形式で保存

Step 2  をタップ →  **Open Document** にアクセスし、**FileBrowser** を選択します。**Board** をタップすると、保存されたホワイトボード文書が見つかります。

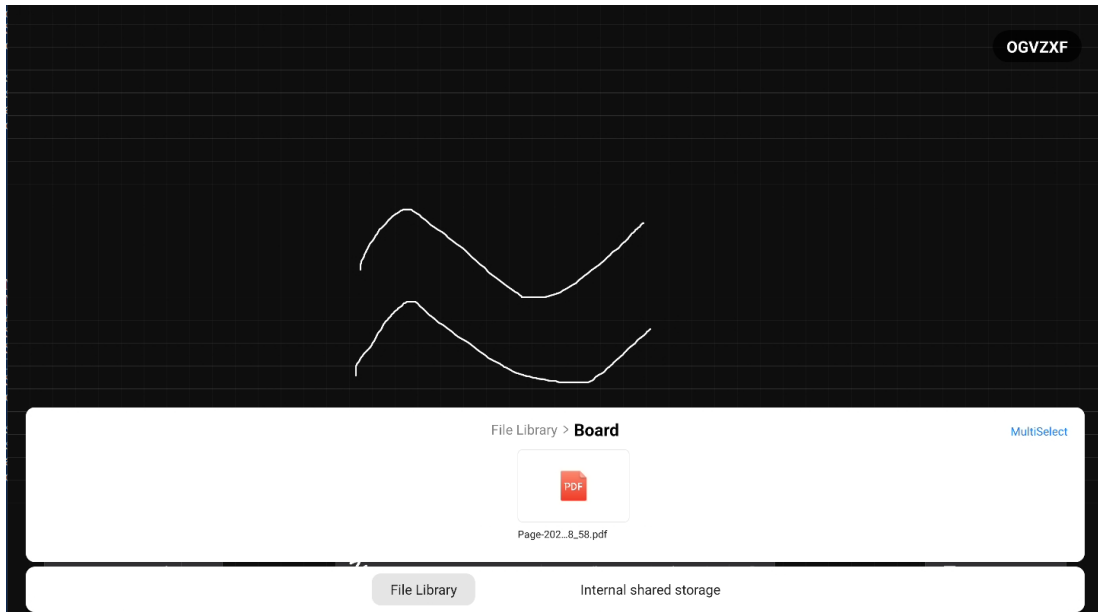


Figure 7-12 ドキュメントを開く

Step 3 挿入するドキュメントをクリックすると、保存されたホワイトボードページ上で編集できます。

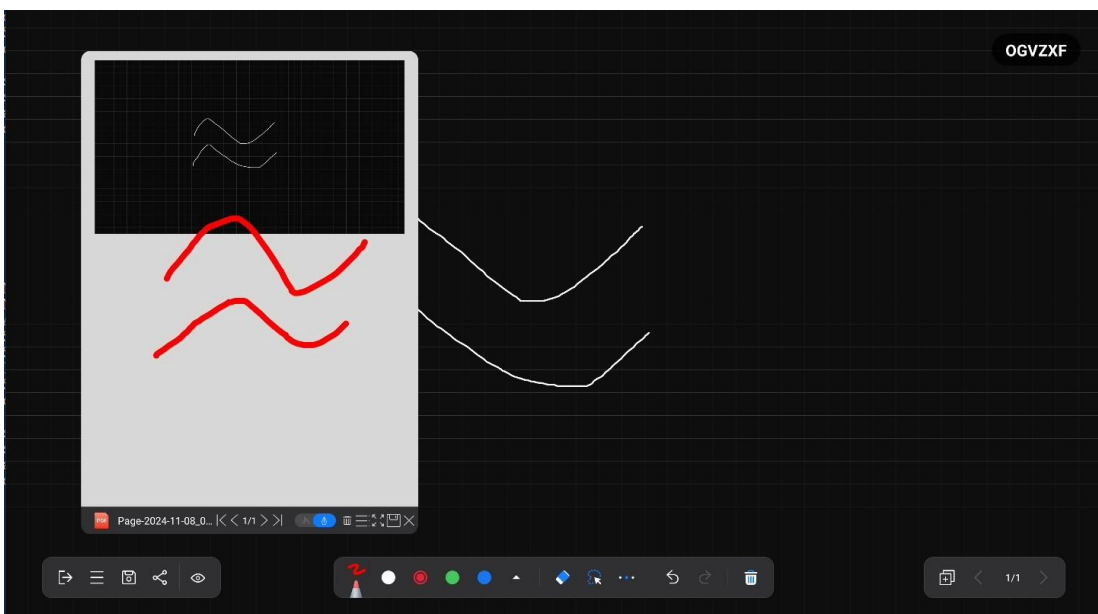








Figure 7-13 ドキュメント上で編集







Table 7-4 挿入済みドキュメントの機能

アイコン	説明
	ドキュメント上でスライドまたは書き込みを行います。
	ドキュメント上の編集内容を削除します。
	右側にサムネイルを表示します。サムネイルまたはページ番号の表示を選択できません。
	挿入された文書を展開します。
	編集した文書を保存します。
	挿入したドキュメントを閉じる。

7.3.3 Manage Whiteboard

新しいホワイトボードを作成したり、ホワイトボードを切り替えたり、ホワイトボードを削除したりできます。

Table 7-5 機能説明

機能	説明
ホワイトボードを追加	右下の「  」をタップしてホワイトボードページを追加します。
ホワイトボードを切り替える	 /  をタップしてホワイトボードページを切り替えます。
ホワイトボードのドラッグ	1枚のホワイトボードは無限に大きく、5本の指でホワイトボードページを上下左右にドラッグして、書き込みスペースを拡張することができます。
ホワイトボードの表示	ページ番号エリアの「  」をタップすると、ホワイトボードページのサムネイルが表示されます。サムネイルを上下にスワイプし、ページをタップすると表示中のページにジャンプします。
ホワイトボード削除	ページ番号領域の「  」をタップし、ページ右下の「  」をタップすると、そのページを削除できます。


Note

ホワイトボードを閉じると、すべての情報がリセットされます。

7.3.4 Save Whiteboard

ホワイトボードの内容が完成したら、ページを端末にローカル保存して参照したり、他の人と共有したりできます。

手順

Step 1 ホワイトボード左下の「」をタップします。

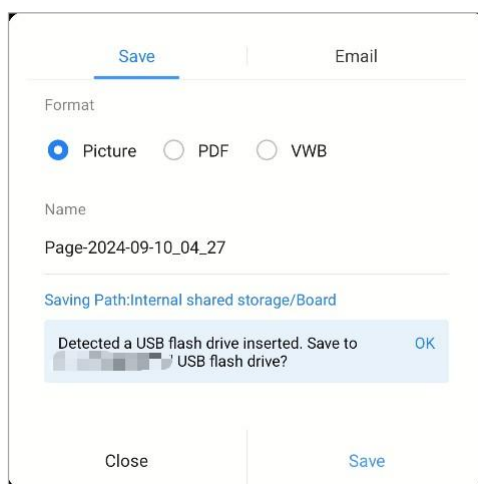


Figure 7-14 ホワイトボードを保存

Step 2 保存形式を選択します。

Note

ボードをPNG形式の画像、PDF形式の文書、または編集可能なVWB形式のファイルとして保存できます。


Step 3（任意）ボードの名前を編集します。**Step 4** 「保存」

をタップします。

7.3.5 Share Whiteboard

ユーザーは、電子メールやQRコードを介してホワイトボードを他の人と共有できます。


メールで共有

ホワイトボードの左下にある「」をタップし、「メール」を選択してください。

Note

開始前にメールサーバーの設定が完了していることを確認してください。

QRコードで共有

左下の「」をタップすると、同じLAN上のモバイルデバイスがコードをスキャンしてホワイトボードのコンテンツをダウンロードできます。

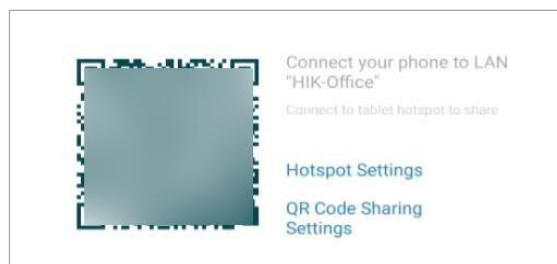


Figure 7-15 QRコードで共有

7.3.6 More Functions

ホワイトボードの左下にある「」をタップすると、画面分割書き込みや2色書き込みなどの機能を利用できます。

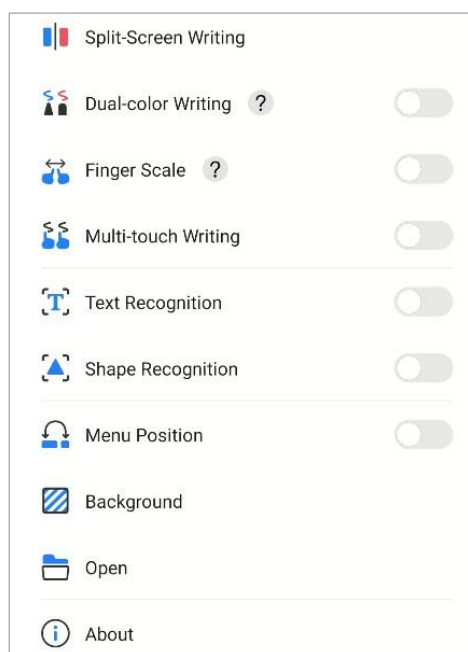





Figure 7-16 その他の機能

分割画面書き込み

分割画面でのホワイトボード同時書き込みをサポート。

-  または  をタップして、2画面または3画面表示を切り替えます。
-  をタップすると分割画面書き込みモードを終了します。


Note

分割画面の数を変更したり、分割画面書き込みモードを終了したりすると、現在の内容は保存されません。


デュアルカラー書き込み

有効化後、筆記ペンの先端と尾部で異なる色を選択できます。

Note

- ストロークサポートを長押しすると、ペンの閾値を調整できます。
-  をクリックすると、機能ガイドをご覧ください。

指スケール

有効化後、2本の指でページを拡大/縮小できます。機能ガイドを見るには、 をクリックしてください。

マルチタッチ書き込み

有効化すると、ホワイトボードはマルチフィンガータッチに対応し、複数の指で同時にホワイトボードを編集できるようになります。

文字認識

有効化後、ホワイトボードは手書き文字を認識し、標準的なテキストに修正します。

Note

マルチタッチ入力とテキスト認識は同時に有効にできません。

形状認識

有効化すると、ホワイトボードは描画された図形を認識し、標準的な図形に修正します。

Note

- 認識可能な図形には、円、三角形、長方形、直線が含まれます。
- テキスト認識と図形認識は同時に有効にすることはできません。

メニューの位置

有効にすると、ホワイトボードの左側のメニューと右側のページ番号が入れ替わり、機能アイコンやメニューに簡単にアクセスできるようになります。

背景

ホワイトボードの背景と陰影を設定し、必要に応じてホワイトボードの背景スタイルをカスタマイズできます。

開く



VWB形式で保存されたホワイトボードファイルを開き、再度編集します。

About

現在のバージョンとオープンソース契約を表示します。

ツールバーを非表示



左下の「」をタップしてツールバーを非表示にします。「」をタップすると表示されます。

7.4 WonderCastServer

インタラクティブフラットパネルにPCやスマートフォンの画面をミラーリングしたり、PCやスマートフォンからフラットパネルを操作できます。WonderCastServerの詳細については、以下のQRコードをスキャンしてください。



Figure 7-17 WonderCastServer

7.5 システムプリインストールアプリケーション

以下の表は、システムにプリインストールされているアプリケーションの概要です。詳細については、各アプリケーションのヘルプドキュメントを参照してください。



Note

システムにプリインストールされているアプリケーションは、デバイスタイプによって異なります。

Table 7-6 システムプリインストールアプリケーションの紹介

アプリケーション	概要
ホワイトボード	描画や書き込みに使用します。コンテンツの保存、移動、拡大、縮小、削除、ダウンロードが可能です。
ファイルブラウザ	ファイルを管理する。
ブラウザ	デバイスがネットワークに接続されると、ブラウザを通じてインターネット情報を閲覧できます。
ギャラリー	SDカードやUSBディスク内の画像を表示するために使用します。
アップグレード	リモートアップグレード、ローカルアップグレード、およびローカルコンポーネントのアップグレードを提供します。
WonderCastServer	フラットパネル、携帯電話、PCを接続して画面ミラーリングを行うアプリケーションです。
カメラ	カメラによる撮影に使用されます。

第8章 付録A よくある質問

質問	原因と解決策
画面に結露が頻繁に発生するのはなぜですか？	外側の画面には保護のため強化ガラスが取り付けられています。画面と強化ガラスの間には空気対流のための隙間があります。主な理由は、画面と外部の間に温度差があるためです。高温の空気が低温のガラス表面で凝縮し、結露が発生します。結露はデバイス起動後に蒸発し、使用には影響しません。
接続後、ノートパソコンから音が出ないのはなぜですか？	オーディオケーブルのみ接続した場合、音声出力と映像出力の両方が利用できません。 <ul style="list-style-type: none"> ● HDMIケーブルを接続してください。 ● Windowsでデバイスをオーディオ出力デバイスとして選択してください。
使用后しばらくすると画面が熱くなるのはなぜですか？	画面の温度上昇は放熱によるもので、完全に正常な現象です。当社の放熱設計は業界をリードするもので、業界標準の策定者であり、国家の健康基準に準拠しています。
長時間使用すると目に悪影響がありますか？	人間の目が認識できるフリッカーは50Hzです。周波数が50Hz未満の場合、フリッカーが認識され、眼筋の疲労を引き起こします。当社では60Hzの液晶画面を採用しているため、人間の目は画面のフリッカーを認識しません。同種の他社製品と比較し、眼精疲労を大幅に軽減できます。
画面に映像が表示されない、または機器から音が出ないのはなぜですか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ケーブルが接続されているか確認してください。 ● コンセントが正常に作動しているか確認してください。 ● 電源スイッチがオンになっているか確認してください。
デバイスのHDMIチャンネルに入力信号がないのはなぜですか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力ソースが正常に動作しているか確認してください。 ● HDMIインターフェースまたはケーブルを変更してください。 ● PCにアクセスできる場合は、PCでHDMI出力を設定してください。
有線ネットワークが不安定なのはなぜですか？	自動ネットワーク検出オプションを無効にしてみてください。



遠くを見据え、さらに遠くへ